

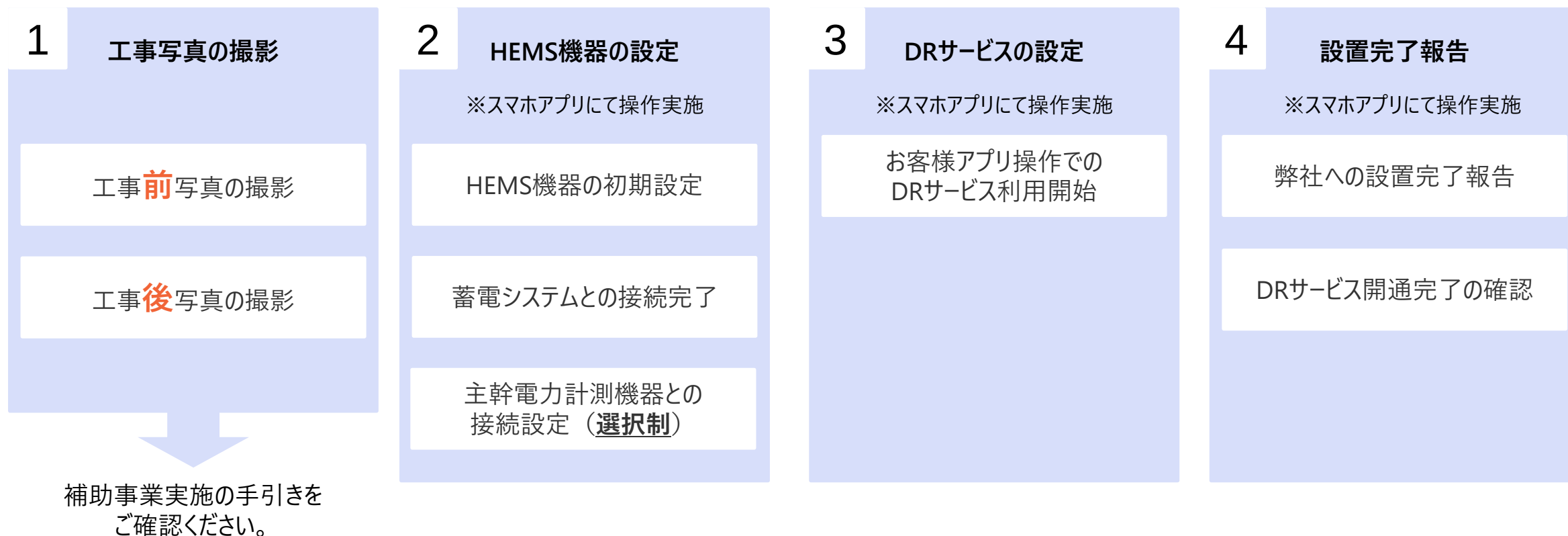
 R7補正 DR家庭用蓄電池

IoT（HEMS）機器設置・設定手順

2026年6月10日 初版

現地での機器設置・設定の際には、以下の作業を実施する必要があります。

本資料では、「2 HEMS機器の設定」、「3 DRサービスの設定」、「4 設置完了報告」について説明しています。



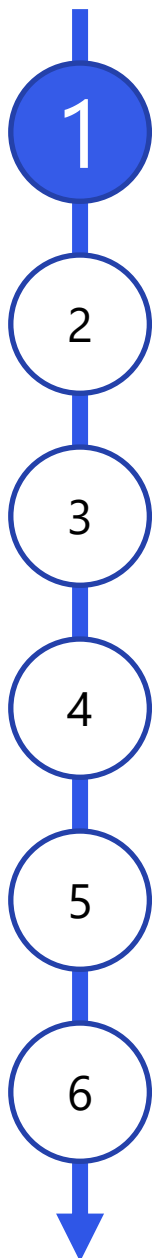


現地での設定を行なう前に、以下の情報が設置担当者に連携されていることをご確認ください。

- ✓ お客様の「交付申請番号」並びに「交付決定番号」
- ✓ 利用する「スマートフォンアプリの名称」 ※商流によって異なりますので、購入元にご確認ください。
- ✓ 「設置・設定資料」（本資料）

設置担当者にご確認頂きたい作業チェックリスト

- ✓ お客様のメールアドレスでHEMSアプリにログインできる状態になっている
- ✓ HEMSの設定、HEMSと蓄電池等との接続設定が完了している
- ✓ 「DRサービス」の利用開始手順が完了している
- ✓ 設置完了報告フォームの送信が完了している
- ✓ 施工前・施工後の写真撮影が完了している



HEMSアプリのダウンロードとアカウント作成

2

IoT（HEMS）機器の接続設定

3

蓄電池システムとの接続設定

4

主幹電力計測機器（Bルート等）との接続設定※

※R7補正事業では、主幹電力計測機器（Bルート等）との接続設定は選択制となりました。

5

DRサービスの利用設定

6

設置完了のご報告（疎通確認依頼ならびに開通完了）



お客様のスマートフォンに「HEMSアプリ」をダウンロードしてください。

※スマートフォンの利用が必須です、ヒューチャーフォン（ガラケー）や、らくらくホンなどではアプリを利用できません。



HEMSアプリのアカウントには、**お客様のメールアドレス**を利用してください。



HEMSアプリアカウント（メールアドレス）を変更する場合、**現場での再設定が必須**となります。
事前にお客様に利用するメールアドレスを確認してください。



お客様のスマートフォンにダウンロードした「HEMSアプリ」で設定を進めてください。



手順 1 HEMSアプリをアプリストアからダウンロードしてください。

- IoT（HEMS）機器の調達先（商流）により、利用するアプリが異なります。
- 利用するアプリが異なっていると機器設定を進めることは出来ません。
- 適切なアプリを確認し、次頁のQRコードを利用してアプリをダウンロードしてください。
※利用アプリが分からない場合には、購入元にお問合せください。
- アプリのダウンロード、利用に関わる通信費用はお客様負担となります。



ENECONNECT (エネコネクト)

<iOS>



<Android>



+Watt (プラス・ワット)

<iOS>



<Android>



ST Green (エス・ティ・グリーン)

<iOS>



<Android>



Enerzit (エナジット)

<iOS>



<Android>



GREEN (グリーン)

<iOS>



<Android>



Energy On (エナジー・オン)

<iOS>



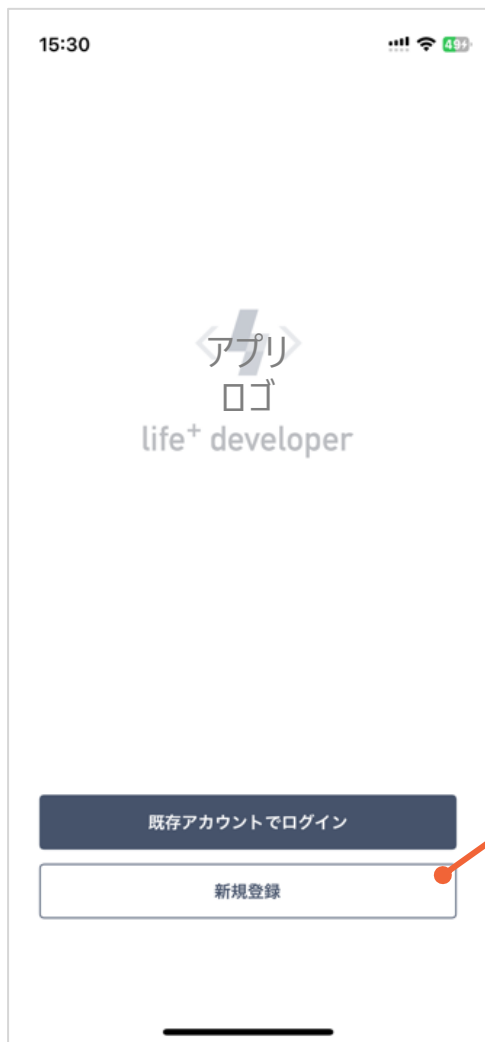
<Android>



手順2 HEMSアプリのアカウント作成

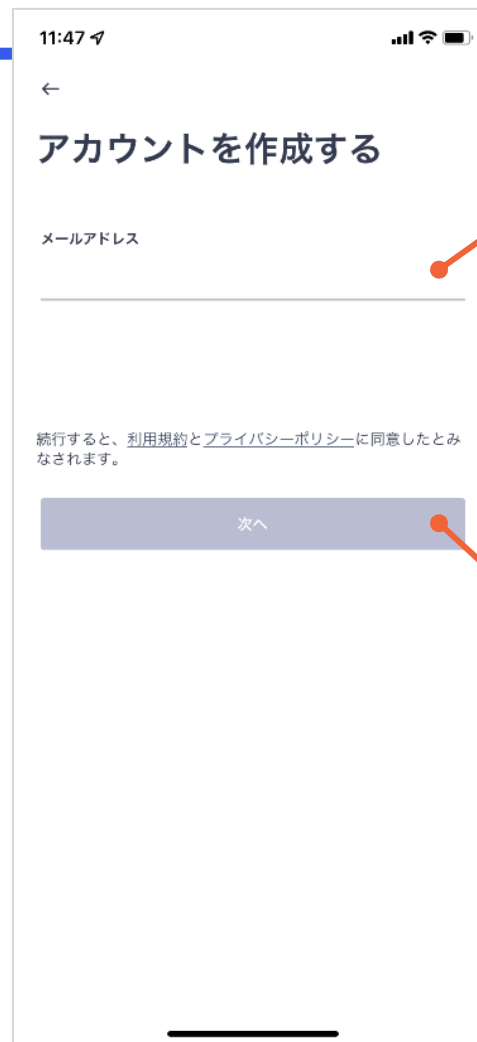


お客様のメールアドレスをご利用ください。



①アプリを起動する

②「新規登録」をタップする



①メールアドレスを入力する

※半角で入力してください。
※メールアドレスの前後にスペース（空白）を含まないでください。
※入力内容に間違いが無いが再度確認してください。

②「次へ」をタップする

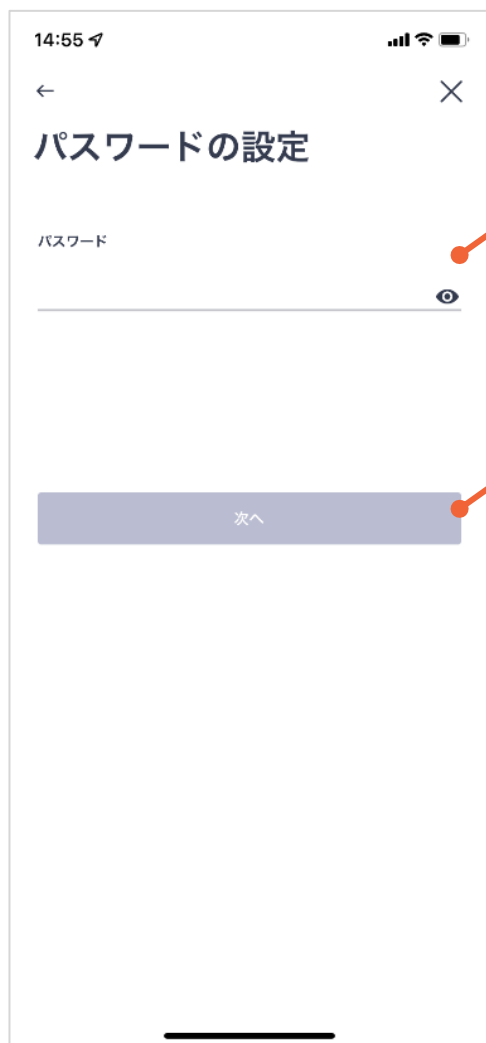


キャリアメールは利用しないでください。



補助金申請時のメールアドレスと異なっても問題ありません。

手順3 パスワードの設定



①パスワードを入力する

②「次へ」をタップする



パスワード入力時の注意点

- ①文字長さ 8文字以上~20文字以内
- ②利用文字（以下の項目を全て含むこと）
 - 英字大文字
 - 英字小文字
 - 数字
 - 記号

手順4 確認コードの確認



①メールボックスを起動

※HEMSアプリではなく、スマートフォンで利用しているメールボックスを起動してください。

②「アカウント登録認証」のメールを確認

③「確認コード」をコピー



メールが確認できない場合は以下の点を確認してください。

- ・迷惑メールフォルダの確認
- ・ドメイン指定受信が設定されている場合は、以下のアドレスが受信できるようご設定ください。「nextdrive.io」ならび「awsses.com」

手順5 確認コードの入力とお客様氏名の登録

① 確認コードの入力

② 「次へ」をタップする

※確認コードの再送を短時間に
繰り返し行わないでください。

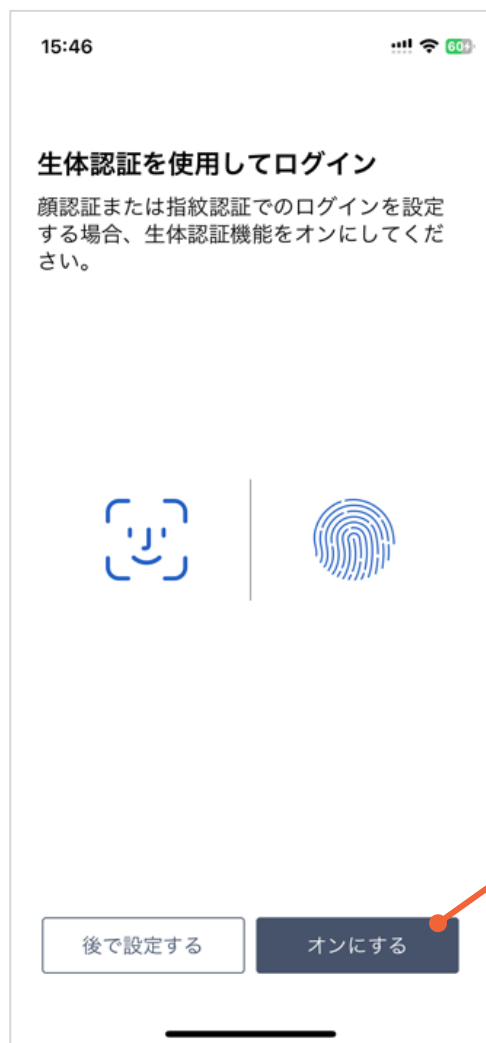
① 「任意のユーザー名」を入力する

② 「**お客様**氏名」を入力する

③ 「フリガナ」を入力する

④ 「OK」をタップする

手順 6 生体認証の設定

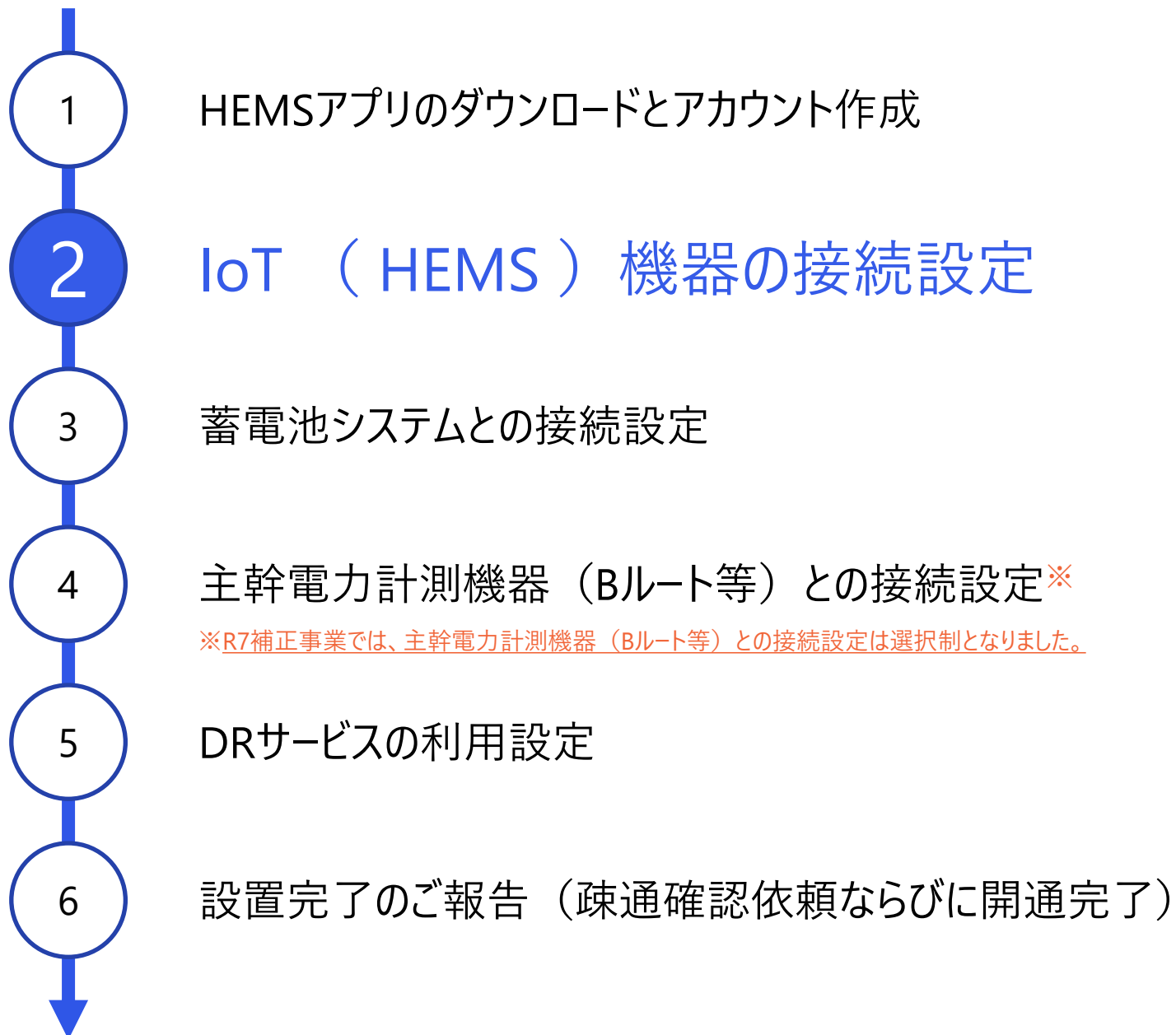


パスワードを忘れてしまうユーザー様が多いため、**必ず生体認証をオンにしてください。**

「オンにする」をタップする



HEMS (IoT) 機器の接続設定に続く





お客様のHEMSアプリ登録アカウントでログインした上で操作してください。

お客様のアカウント情報を利用して、操作を行なう場合、すべての設定が完了した後にパスワードの更新を行なうようお客様にご案内をお願いします。



本資料で提示しているネットワーク構成にて接続設定を行なうようにしてください。
資料にない構成で接続設定を行なう場合には**弊社サポートの対象外**となります。



Wi-Fiルーター、中継器との接続の際に、設定変更が必要となる場合があります。
メーカーの説明書を確認の上、設定変更作業を行なってください。

利用不可

- 可搬型のWi-Fiルーター
 - ・ モバイルルーター、ポケットWi-Fi等の可搬型のルーター、定常的に同一の場所で使用されないルーターは利用不可です。
- スマートフォンのテザリングによる接続

非推奨

- LTE回線を利用したホームルーター
- 光回線等提供会社が設置する終端装置（ONU）一体型のルーター

→ルーターの設定等の影響で、ECHONET Lite 機器の検出ができないケースが多数報告されています。これらのルーターを利用する場合は、**市販のWi-Fiルーターを追加で設置**してください。

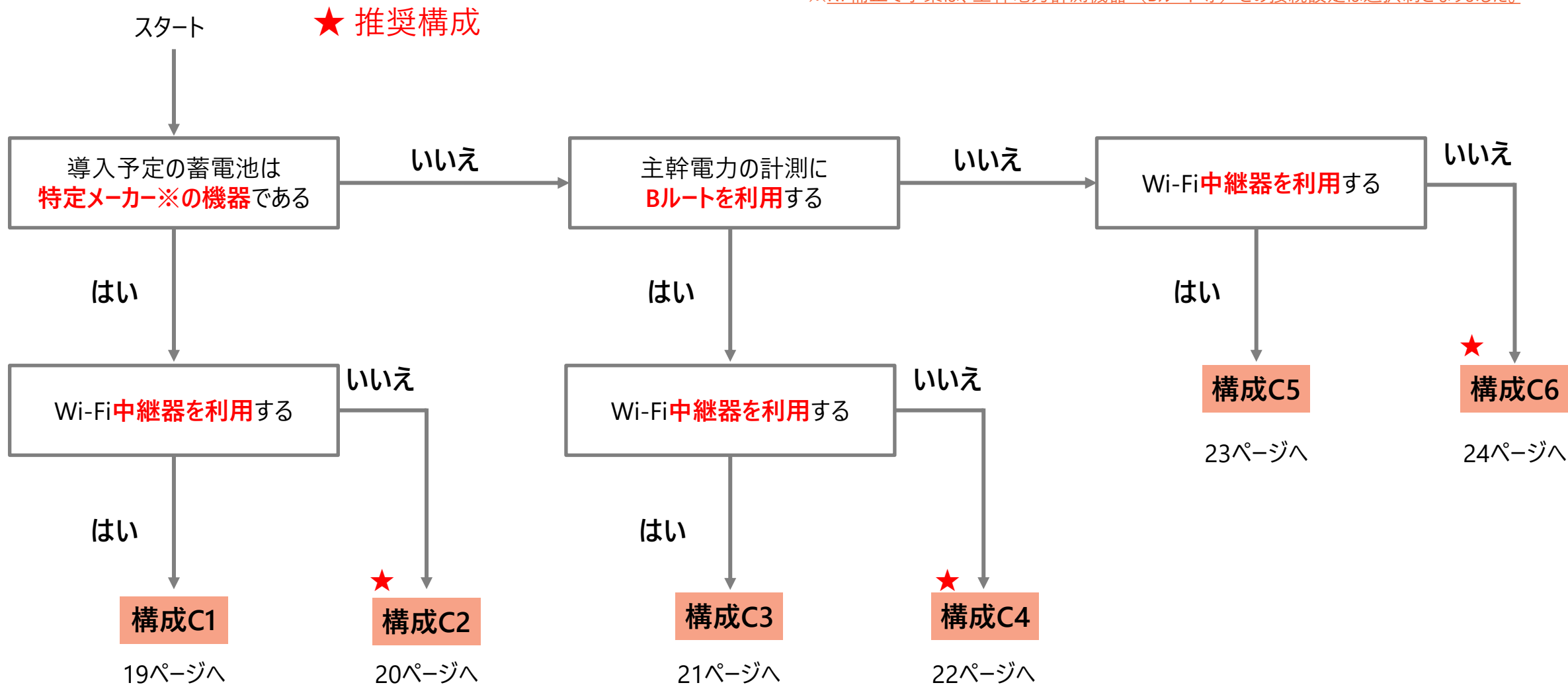


「**Cube J**」をご利用の場合 … 17ページへ

「**EDGE**」をご利用の場合 … 32ページへ

「Cube J」の接続設定

※R7補正で事業は、主幹電力計測機器（Bルート等）との接続設定は選択制となりました。



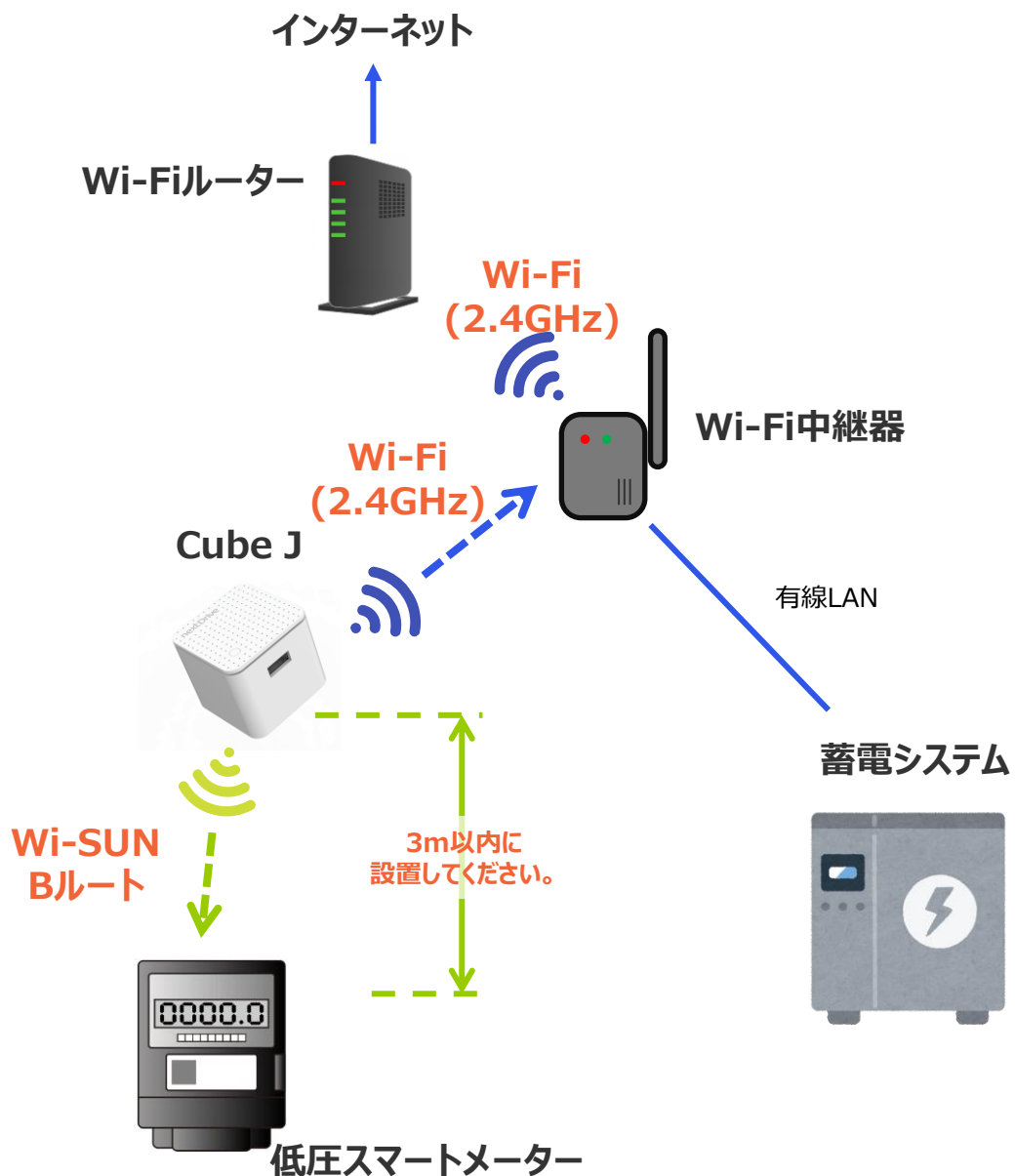
※特定メーカー：オムロン、パナソニック、長州産業



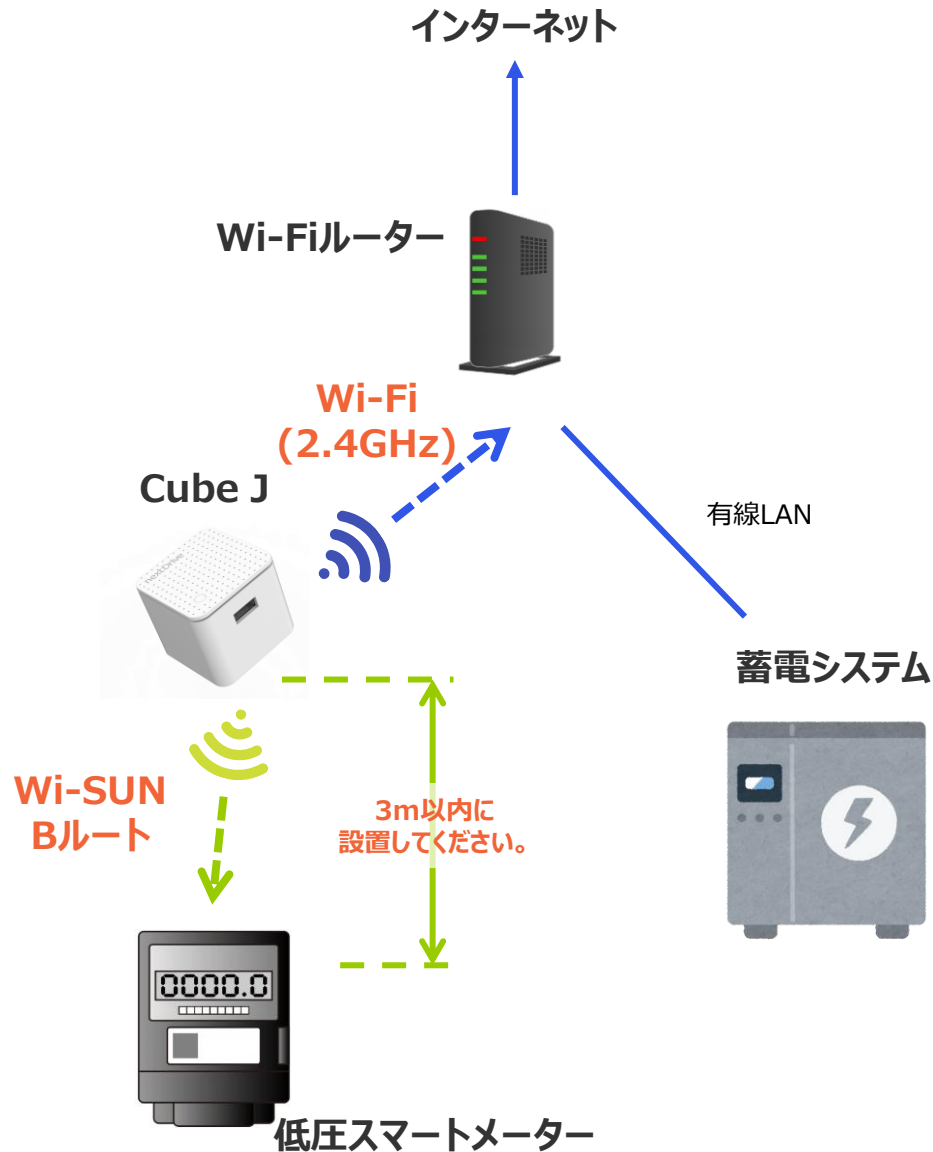
- ※1 お客様宅に**インターネット回線があることが必須**です。
- ※2 Wi-Fiルーターへの接続は、**2.4GHzのアクセスポイント (SSID)** を選択してください。(末尾がb / g や2Gと表記されるアクセスポイント)
- ※2 **バンドステアリング機能**を搭載したWi-Fiルーターをご使用の場合は、**当該機能を無効化**してください。
- ※3 Wi-Fiルーターの**最大接続台数を超える接続**はおやめください。
(最大接続台数はWi-Fiルーターの説明書をご確認ください)
- ※4 **PLC (パワーラインコミュニケーション)** での接続はサポートしておりません。
- ※5 **モバイルルーター、ポケットWi-Fi等**の非・常設利用のルーターは**使用不可**です。(スマホテザリングも不可)
- ※6 **LTE回線を使用したホームルーターや回線提供会社が設置するWi-Fiルーター**はECHONET Lite 機器の検出ができない場合があります。その場合は、**市販のWi-Fiルーターを追加で設置**してください。
- ※7 接続できない場合は、**Wi-Fi中継器のメーカー説明書を確認**し、対応を行ってください。



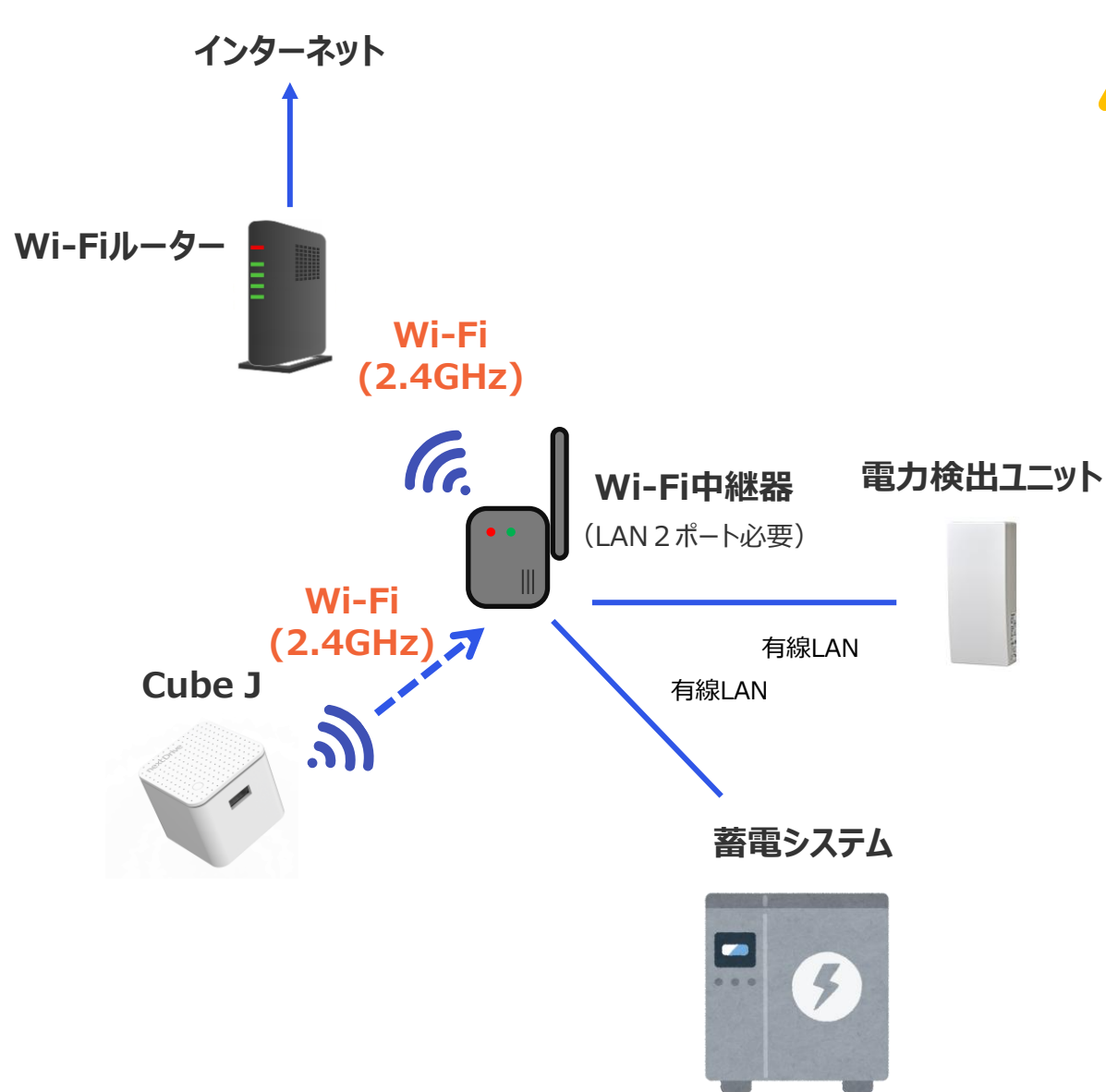
- ※1 お客様宅に**インターネット回線があることが必須**です。
- ※2 Wi-Fiルーターへの接続は、**2.4GHzのアクセスポイント (SSID)** を選択してください。(末尾がb / g や2Gと表記されるアクセスポイント)
- ※2 **バンドステアリング機能**を搭載したWi-Fiルーターをご使用の場合は、**当該機能を無効化**してください。
- ※3 Wi-Fiルーターの**最大接続台数を超える接続**はおやめください。
(最大接続台数はWi-Fiルーターの説明書をご確認ください)
- ※4 **PLC (パワーラインコミュニケーション)** での接続はサポートしておりません。
- ※5 **モバイルルーター、ポケットWi-Fi等**の非・常設利用のルーターは**使用不可**です。(スマホテザリングも不可)
- ※6 **LTE回線を使用したホームルーター**や**回線提供会社が設置するWi-Fiルーター**はECHONET Lite 機器の検出ができない場合があります。その場合は、**市販のWi-Fiルーターを追加で設置**してください。



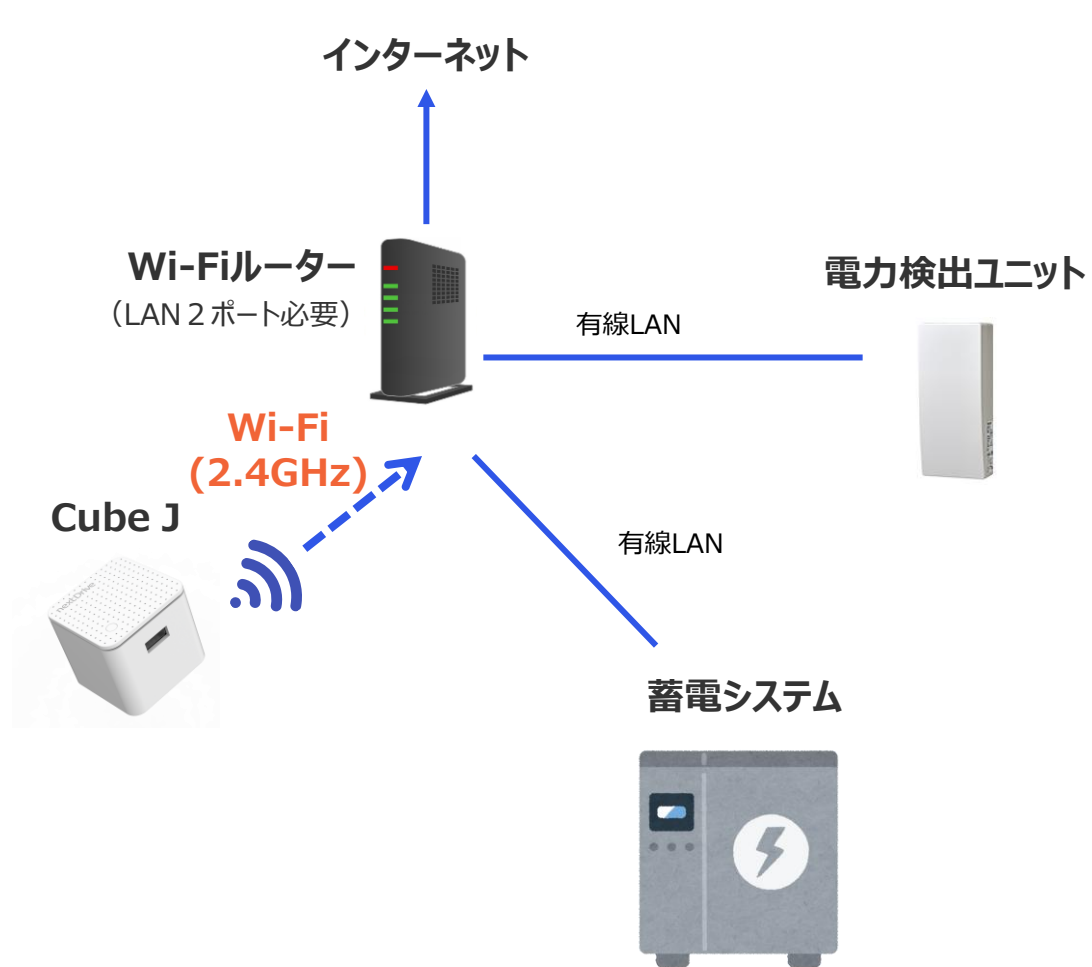
- ※1 お客様宅に**インターネット回線があることが必須**です。
- ※2 Wi-Fiルーターへの接続は、**2.4GHzのアクセスポイント (SSID)** を選択してください。(末尾がb / g や2Gと表記されるアクセスポイント)
- ※2 **バンドステアリング機能**を搭載したWi-Fiルーターをご使用の場合は、**当該機能を無効化**してください。
- ※3 Wi-Fiルーターの**最大接続台数を超える接続**はおやめください。
(最大接続台数はWi-Fiルーターの説明書をご確認ください)
- ※4 **PLC (パワーラインコミュニケーション)** での接続はサポートしておりません。
- ※5 **モバイルルーター、ポケットWi-Fi等**の非・常設利用のルーターは**使用不可**です。(スマホテザリングも不可)
- ※6 **LTE回線を使用したホームルーター**や**回線提供会社が設置するWi-Fiルーター**はECHONET Lite 機器の検出ができない場合があります。その場合は、**市販のWi-Fiルーターを追加で設置**してください。
- ※6 接続できない場合は、**Wi-Fi中継器のメーカー説明書を確認**し、対応を行ってください。
- ※7 Cube Jと**スマートメーターの距離は3m程度**としてください。



- ※1 お客様宅に**インターネット回線があることが必須**です。
- ※2 Wi-Fiルーターへの接続は、**2.4GHzのアクセスポイント (SSID)** を選択してください。(末尾がb / g や2Gと表記されるアクセスポイント)
- ※2 **バンドステアリング機能**を搭載したWi-Fiルーターをご使用の場合は、**当該機能を無効化**してください。
- ※3 Wi-Fiルーターの**最大接続台数を超える接続**はおやめください。
(最大接続台数はWi-Fiルーターの説明書をご確認ください)
- ※4 **PLC (パワーラインコミュニケーション)** での接続はサポートしておりません。
- ※5 **モバイルルーター、ポケットWi-Fi等**の非・常設利用のルーターは**使用不可**です。(スマホテザリングも不可)
- ※6 **LTE回線を使用したホームルーター**や**回線提供会社が設置するWi-Fiルーター**はECHONET Lite 機器の検出ができない場合があります。その場合は、**市販のWi-Fiルーターを追加で設置**してください。
- ※7 事前にBルートサービスの利用申請を終え、ID・パスワードを取得してください。
- ※8 Cube Jと**スマートメーターの距離は3m程度**としてください。



- ※1 お客様宅に**インターネット回線があることが必須**です。
- ※2 Wi-Fiルーターへの接続は、**2.4GHzのアクセスポイント (SSID)** を選択してください。(末尾がb / g や2Gと表記されるアクセスポイント)
- ※2 **バンドステアリング機能**を搭載したWi-Fiルーターをご使用の場合は、**当該機能を無効化**してください。
- ※3 Wi-Fiルーターの**最大接続台数を超える接続**はおやめください。
(最大接続台数はWi-Fiルーターの説明書をご確認ください)
- ※4 **PLC (パワーラインコミュニケーション)** での接続はサポートしておりません。
- ※5 **モバイルルーター、ポケットWi-Fi等**の非常設利用のルーターは**使用不可**です。(スマホテザリングも不可)
- ※6 **LTE回線を使用したホームルーター**や**回線提供会社が設置するWi-Fiルーター**はECHONET Lite 機器の検出ができない場合があります。その場合は、**市販のWi-Fiルーターを追加で設置**してください。
- ※7 接続できない場合は、**Wi-Fi中継器のメーカー説明書を確認**し、対応を行ってください。



- ※1 お客様宅に**インターネット回線があることが必須**です。
- ※2 Wi-Fiルーターへの接続は、**2.4GHzのアクセスポイント (SSID)** を選択してください。(末尾がb / g や2Gと表記されるアクセスポイント)
- ※2 **バンドステアリング機能**を搭載したWi-Fiルーターをご使用の場合は、**当該機能を無効化**してください。
- ※3 Wi-Fiルーターの**最大接続台数を超える接続**はおやめください。
(最大接続台数はWi-Fiルーターの説明書をご確認ください)
- ※4 **PLC (パワーラインコミュニケーション)** での接続はサポートしておりません。
- ※5 **モバイルルーター、ポケットWi-Fi等**の非・常設利用のルーターは**使用不可**です。(スマホテザリングも不可)
- ※6 **LTE回線を使用したホームルーター**や**回線提供会社が設置するWi-Fiルーター**はECHONET Lite 機器の検出ができない場合があります。その場合は、**市販のWi-Fiルーターを追加で設置**してください。



手順1 「Cube J」の設定画面に入る





手順2 「Cube J」の機器設定を始める



①「次へ」をタップする



②準備項目を確認した上でチェックを入れる

③「次へ」をタップする



④「Cube」本体のLEDランプが「青色」に点灯していることを確認する

⑤「ペアリング開始」をタップする



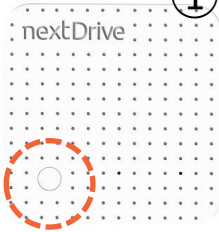
手順3 「Cube J」の機器設定を始める

←

ステップ 2/6

デバイスを検索中

以下の画面に従ってゲートウェイのボタンを押し、Bluetooth とのペアリングモードを起動してください。





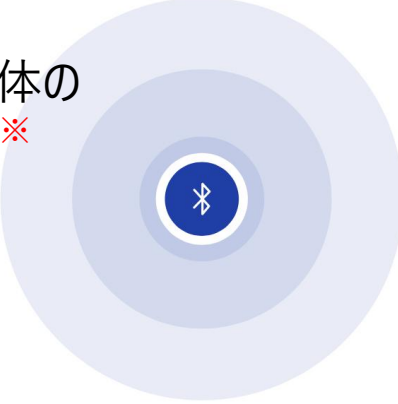
検索しています...

←

ステップ 2/6

デバイスを検索中

以下の画面に従ってゲートウェイのボタンを押し、Bluetooth とのペアリングモードを起動してください。





見つからない場合、Cube J 上部にあるボタンをもう一度押してください

本体操作

①「Cube J」本体の
ボタンを押す※

※「Cube J」本体のボタンは指や先端の柔らかい棒状のもので押下してください。
先端の尖った金属の棒で押下すると故障の原因になります。

←

ステップ 2/6

デバイスを検索中

以下の画面に従ってゲートウェイのボタンを押し、Bluetooth とのペアリングモードを起動してください。

利用可能なデバイス



CubeJ-bb28e4

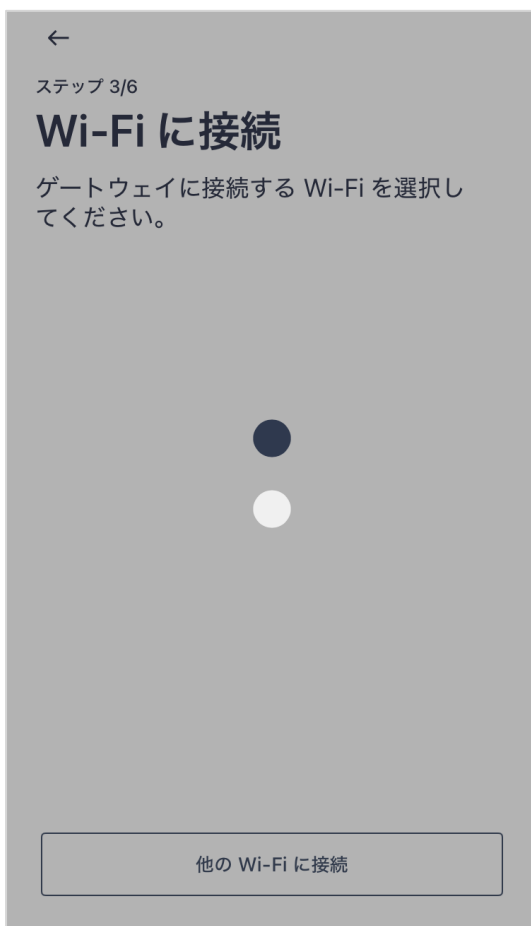
ペアリング

もう一度検索する

②「ペアリング」を
タップする



手順4 Wi-Fi設定を行なう



接続したいWi-Fiのアクセスポイント（SSID）を選択してください。



2.4 GHzのアクセスポイント（SSID）を選択してください。
（末尾がb / g や2Gと表記されるアクセスポイント）



バンドステアリング機能を持つWi-Fiルーターを利用の場合は、機能を無効化してください。（設定方法はメーカーの説明書をご確認ください。）



手順5 Wi-Fiのパスワードを入力とゲートウェイ位置の登録

←

ステップ 3/6

Wi-Fi に接続

ゲートウェイに接続する Wi-Fi を選択してください。

Buffalo-7C80-WPA3

Wi-Fi SSID

Wi-Fi パスワードを入力する

接続

Buffalo-G-19C0

NDKK_1F

NDKK_GUEST

他の Wi-Fi に接続

①パスワードを入力する

②「接続」をタップする

ステップ 4/6

ゲートウェイの位置

入力された位置情報にもとづいて、屋外の天候、温度、湿度情報を提供します。

位置を選択

日本 その他

この手順をスキップすると、IP アドレスにもとづき気象情報が表示されます。

後で設定する 次へ

「日本」をタップする



手順6 ゲートウェイ位置の登録

ステップ 4/6

ゲートウェイの位置

入力された位置情報にもとづいて、屋外の
天候、温度、湿度情報を提供します。

位置を選択

☒ 日本 ☐ その他

ゲートウェイ設置場所の郵便番号

〒 123 - 1234

この手順をスキップすると、IP アドレスにもと
づく気象情報が表示されます。

①設置場所の
郵便番号を入力する

ステップ 4/6

ゲートウェイの位置

入力された位置情報にもとづいて、屋外の
天候、温度、湿度情報を提供します。

位置を選択

☒ 日本 ☐ その他

ゲートウェイ設置場所の郵便番号

〒 106 - 0031

港区

この手順をスキップすると、IP アドレスにもと
づく気象情報が表示されます。

②表示された地点情報を
確認し、タップする

③「次へ」をタップする



手順7 ゲートウェイ名称の登録

ステップ 5/6

ゲートウェイの名前を設定

今後の管理がより便利になります。

ゲートウェイの名前

例：玄関の Cube J

後で設定する OK

① HEMS(IoT)機器の
名称を入力する

② 「OK」をタップする



CubeJ-bb28e4

セットアップ完了

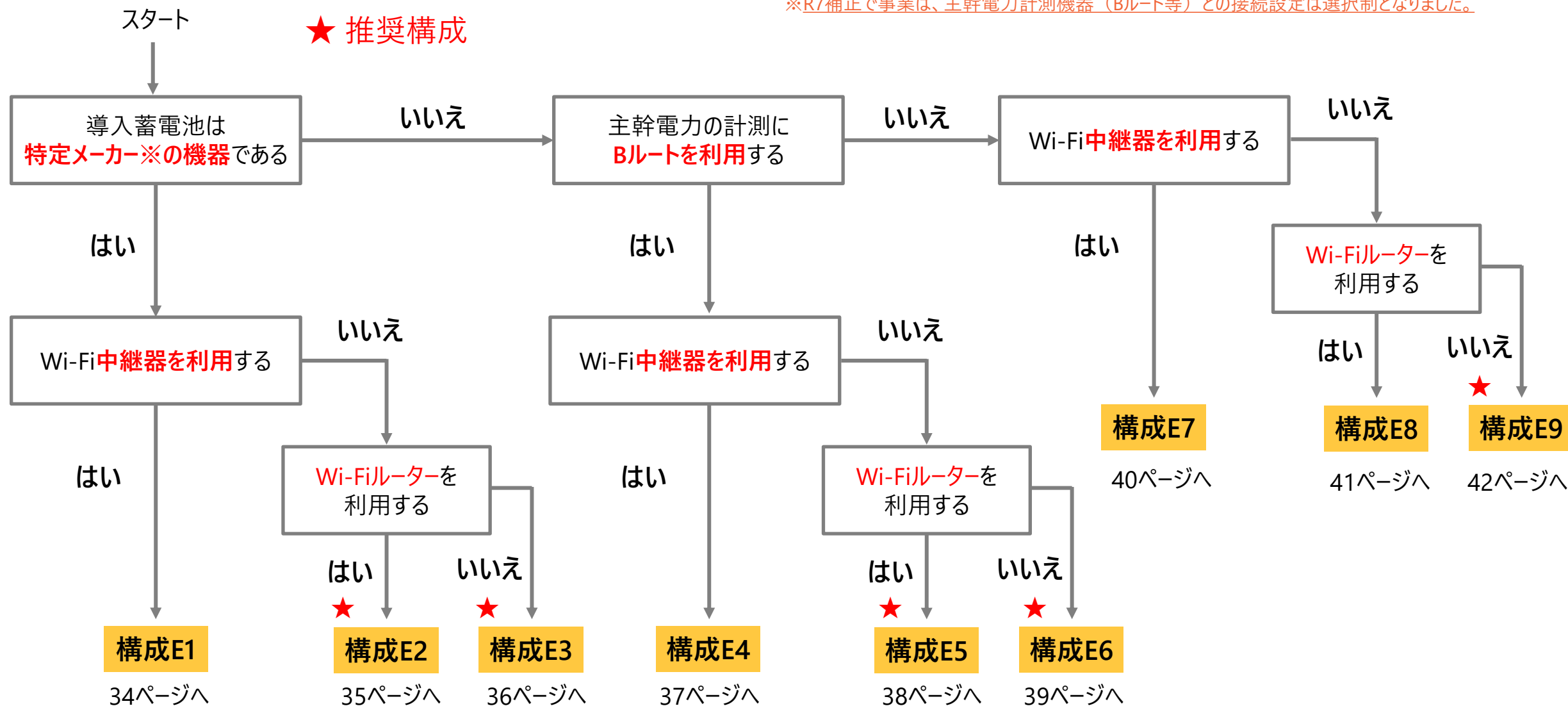
他のデバイスも追加しましょう。さらに多くのサービスが利用できるようになります。

完了

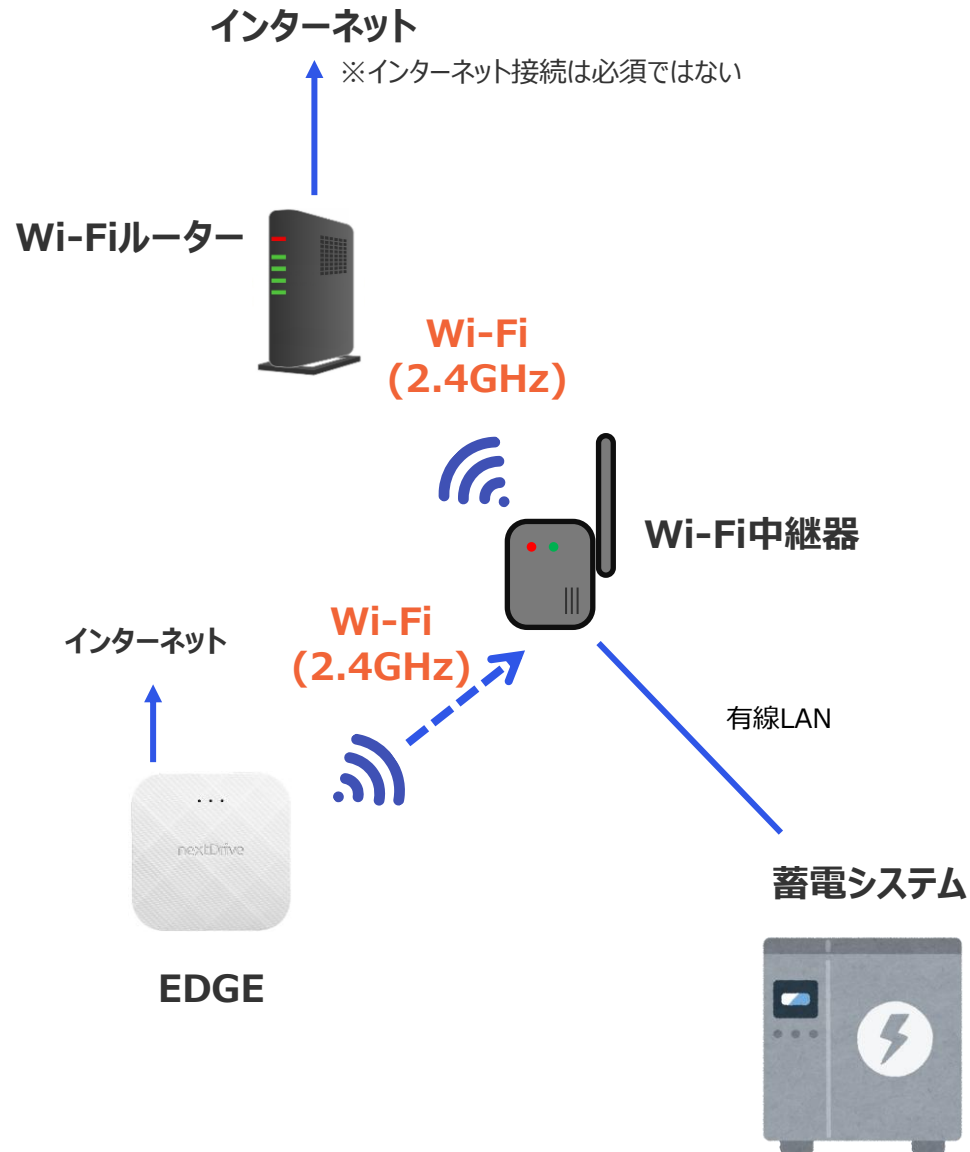
蓄電システムとの
接続設定に続く

「EDGE」の接続設定

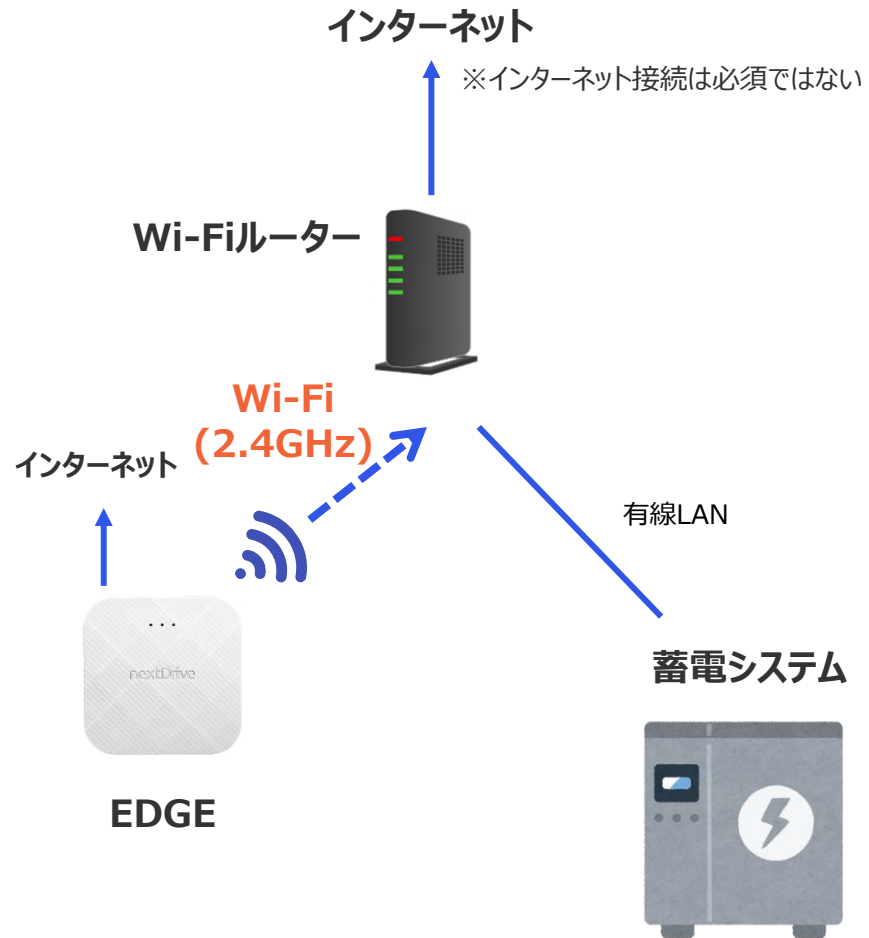
※R7補正で事業は、主幹電力計測機器（Bルート等）との接続設定は選択制となりました。



※特定メーカー：オムロン、パナソニック、長州産業



- ※1 Wi-Fiルーターへの接続は、**2.4GHzのアクセスポイント (SSID)** を選択してください。(末尾がb / g や2Gと表記されるアクセスポイント)
- ※2 **バンドステアリング機能**を搭載したWi-Fiルーターをご使用の場合は、**当該機能を無効化**してください。
- ※3 Wi-Fiルーターの**最大接続台数を超える接続**はおやめください。
(最大接続台数はWi-Fiルーターの説明書をご確認ください)
- ※4 **PLC (パワーラインコミュニケーション)** での接続はサポートしておりません。
- ※5 **モバイルルーター、ポケットWi-Fi等**の非・常設利用のルーターは**使用不可**です。(スマホテザリングも不可)
- ※6 **LTE回線を使用したホームルーター**や**回線提供会社が設置するWi-Fiルーター**はECHONET Lite 機器の検出ができない場合があります。その場合は、**市販のWi-Fiルーターを追加で設置**してください。
- ※7 接続できない場合は、**Wi-Fi中継器のメーカー説明書を確認**し、対応を行ってください。



- ※1 Wi-Fiルーターへの接続は、**2.4GHzのアクセスポイント (SSID)** を選択してください。(末尾がb / g や2Gと表記されるアクセスポイント)
- ※2 **バンドステアリング機能**を搭載したWi-Fiルーターをご使用の場合は、**当該機能を無効化**してください。
- ※3 Wi-Fiルーターの**最大接続台数を超える接続**はおやめください。
(最大接続台数はWi-Fiルーターの説明書をご確認ください)
- ※4 **PLC (パワーラインコミュニケーション)** での接続はサポートしておりません。
- ※5 **モバイルルーター、ポケットWi-Fi等**の非・常設利用のルーターは**使用不可**です。(スマホテザリングも不可)
- ※6 **LTE回線を使用したホームルーター**や**回線提供会社が設置するWi-Fiルーター**はECHONET Lite 機器の検出ができない場合があります。その場合は、**市販のWi-Fiルーターを追加で設置**してください。



インターネット



EDGE

有線LAN

蓄電システム



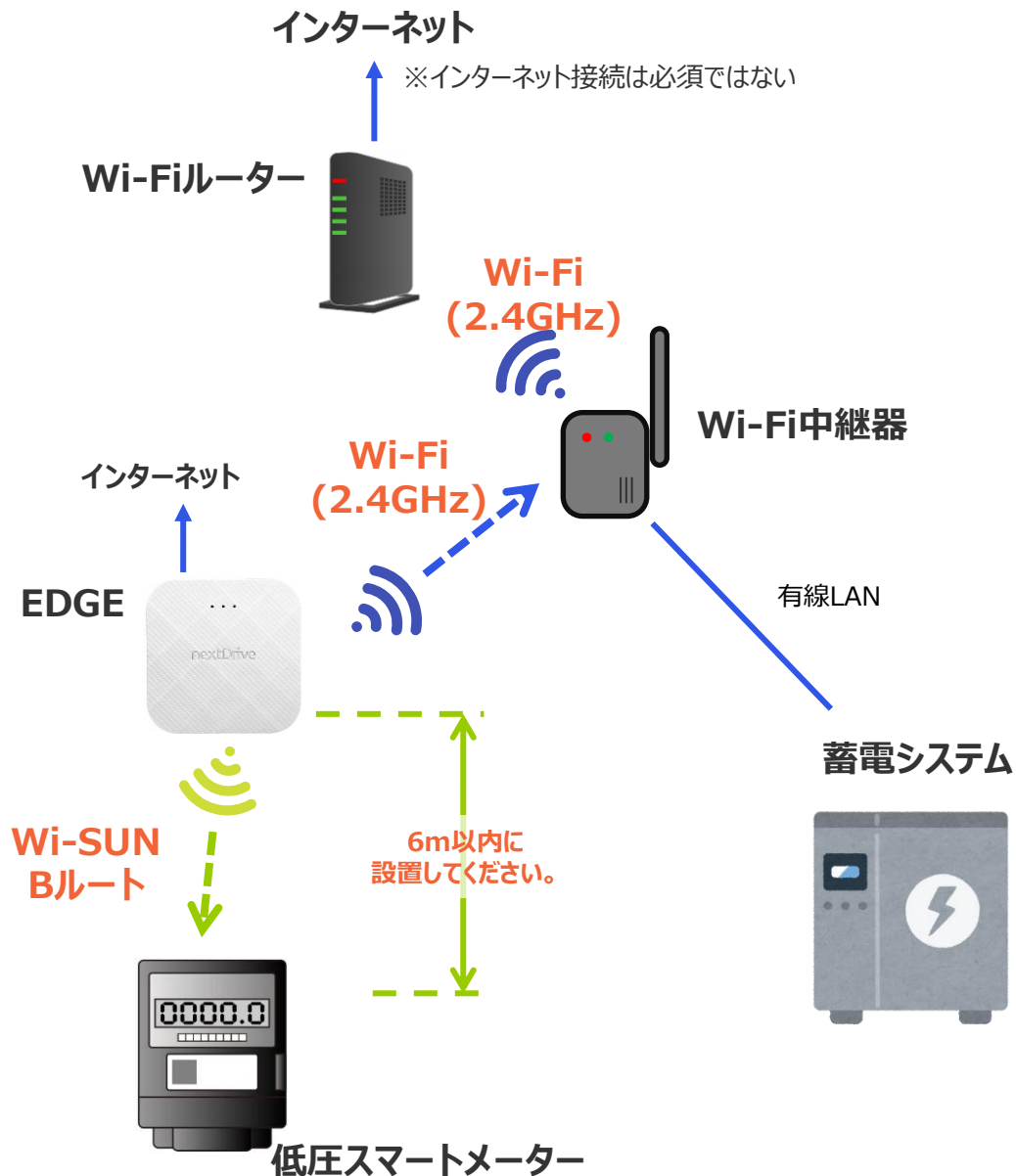
- ※1 **PLC（パワーラインコミュニケーション）**での接続はサポートしていません。
- ※2 蓄電システム側のDHCP設定を「自動」にしてください。
- ※3 蓄電システムが**有線LAN接続できない場合には、本構成は適用不可**です。

蓄電池メーカーのインターネット接続サービスを利用する場合

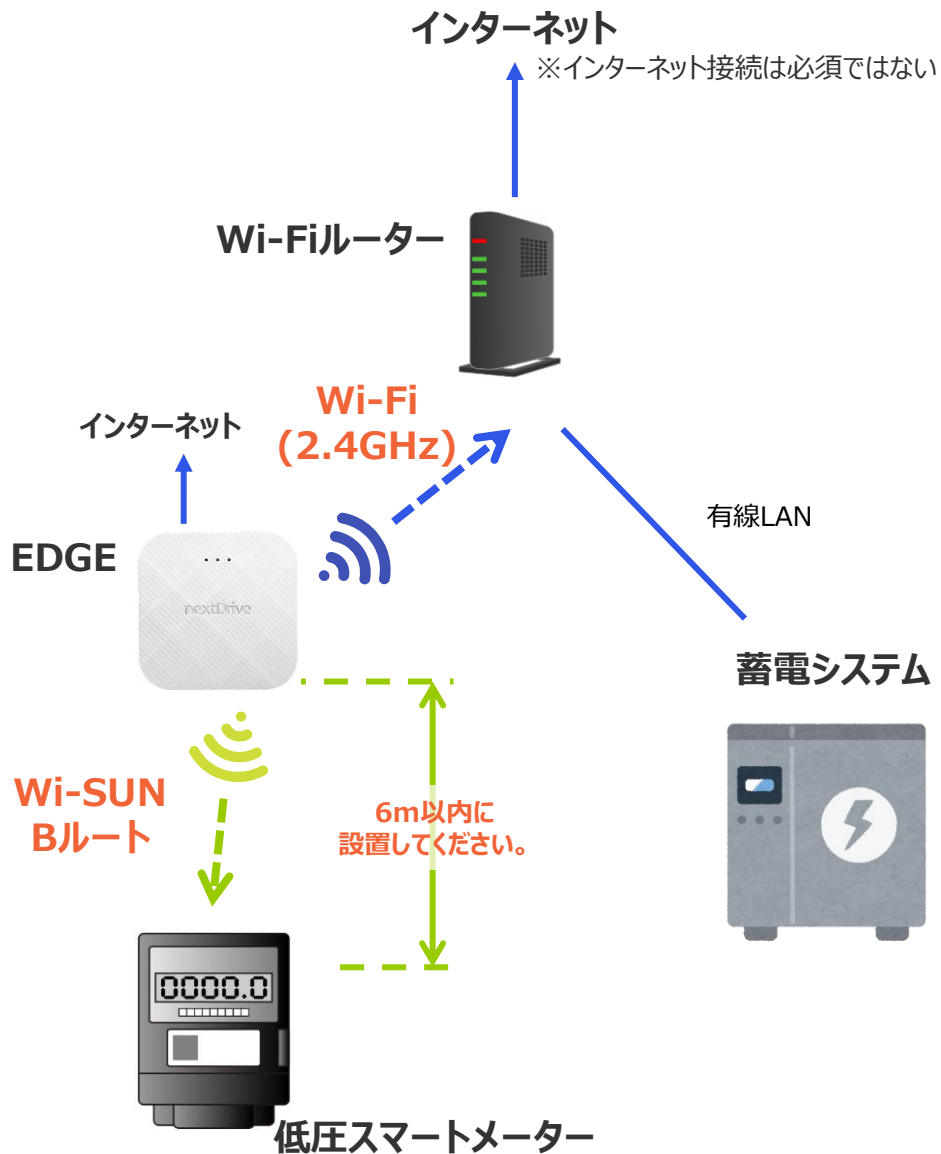
※遠隔モニタリングサービス等

個別の設定が必要となりますので

90ページの手順をご確認ください。



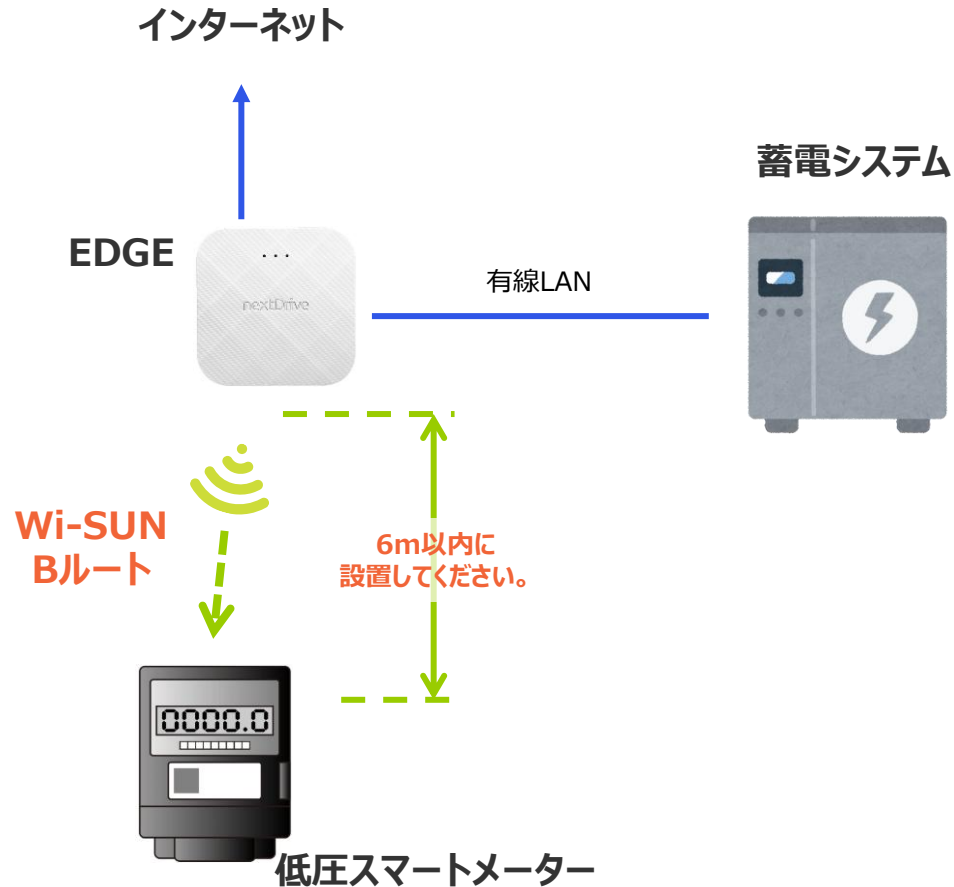
- ※1 Wi-Fiルーターへの接続は、**2.4GHzのアクセスポイント (SSID)** を選択してください。(末尾がb / g や2Gと表記されるアクセスポイント)
- ※2 **バンドステアリング機能**を搭載したWi-Fiルーターをご使用の場合は、**当該機能を無効化**してください。
- ※3 Wi-Fiルーターの**最大接続台数を超える接続**はおやめください。
(最大接続台数はWi-Fiルーターの説明書をご確認ください)
- ※4 **PLC (パワーラインコミュニケーション)** での接続はサポートしておりません。
- ※5 **モバイルルーター、ポケットWi-Fi等**の非・常設利用のルーターは**使用不可**です。(スマホテザリングも不可)
- ※6 **LTE回線を使用したホームルーター**や**回線提供会社が設置するWi-Fiルーター**はECHONET Lite 機器の検出ができない場合があります。その場合は、**市販のWi-Fiルーターを追加で設置**してください。
- ※7 接続できない場合は、**Wi-Fi中継器のメーカー説明書を確認**し、対応を行ってください。
- ※8 EDGEと**スマートメーターの距離は6m程度**としてください。



- ※1 Wi-Fiルーターへの接続は、**2.4GHzのアクセスポイント (SSID)** を選択してください。(末尾がb / g や2Gと表記されるアクセスポイント)
- ※2 **バンドステアリング機能**を搭載したWi-Fiルーターをご使用の場合は、**当該機能を無効化**してください。
- ※3 Wi-Fiルーターの**最大接続台数を超える接続**はおやめください。
(最大接続台数はWi-Fiルーターの説明書をご確認ください)
- ※4 **PLC (パワーラインコミュニケーション)** での接続はサポートしておりません。
- ※5 **モバイルルーター、ポケットWi-Fi等**の非・常設利用のルーターは**使用不可**です。(スマホテザリングも不可)
- ※6 **LTE回線を使用したホームルーターや回線提供会社が設置するWi-Fiルーター**はECHONET Lite 機器の検出ができない場合があります。その場合は、**市販のWi-Fiルーターを追加で設置**してください。
- ※7 事前にBluetoothサービスの利用申請を終え、ID・パスワードを取得してください。
- ※8 **EDGEとスマートメーターの距離は6m程度**としてください。

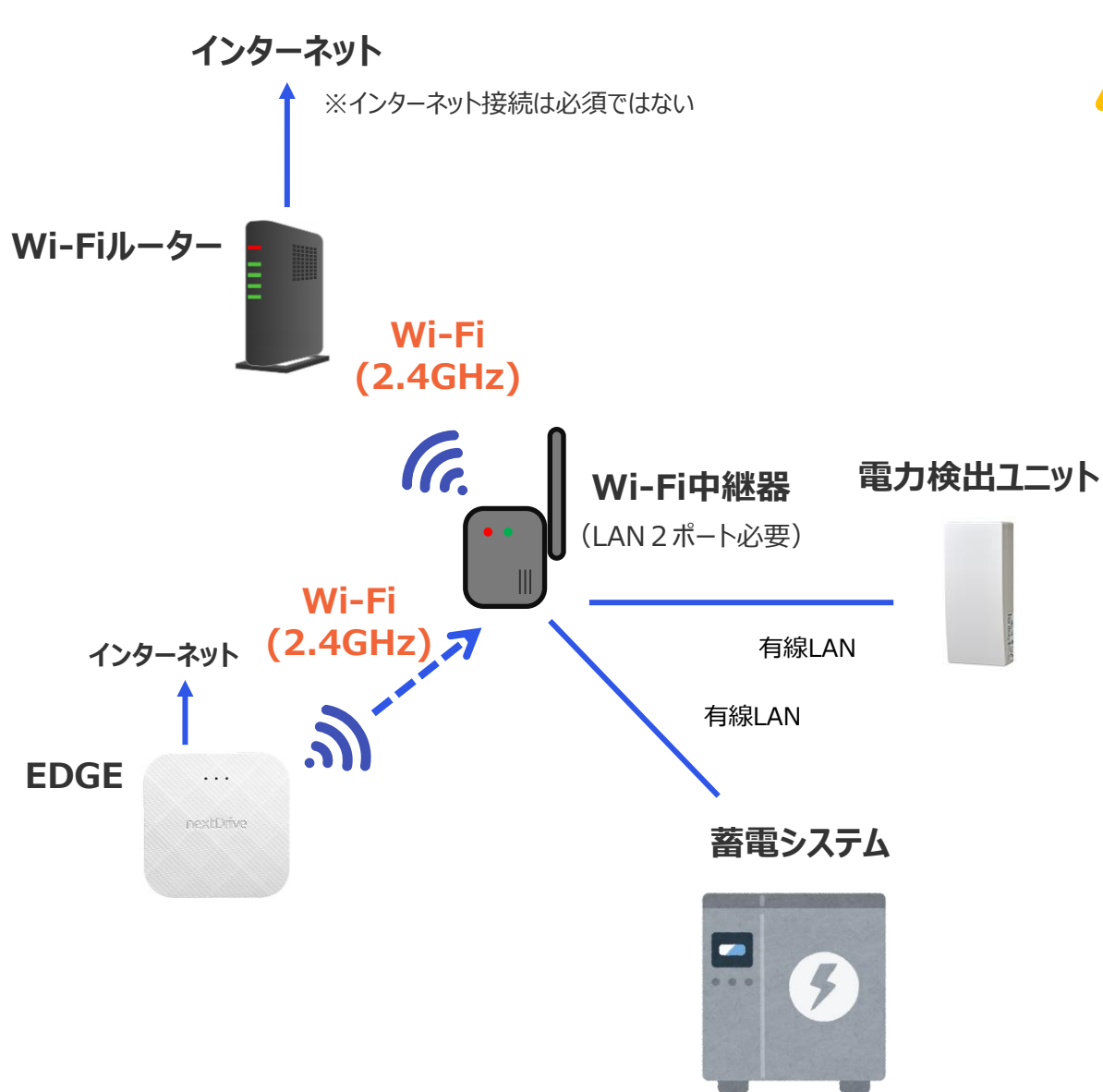


- ※1 **PLC（パワーラインコミュニケーション）**での接続はサポートしていません。
- ※2 蓄電システム側のDHCP設定を「自動」にしてください。
- ※3 蓄電システムが**有線LAN**接続できない場合には、**本構成は適用不可**です。
- ※4 事前にBルートサービスの利用申請を終え、ID・パスワードを取得してください。
- ※5 EDGEと**スマートメーターの距離は6m程度**としてください。

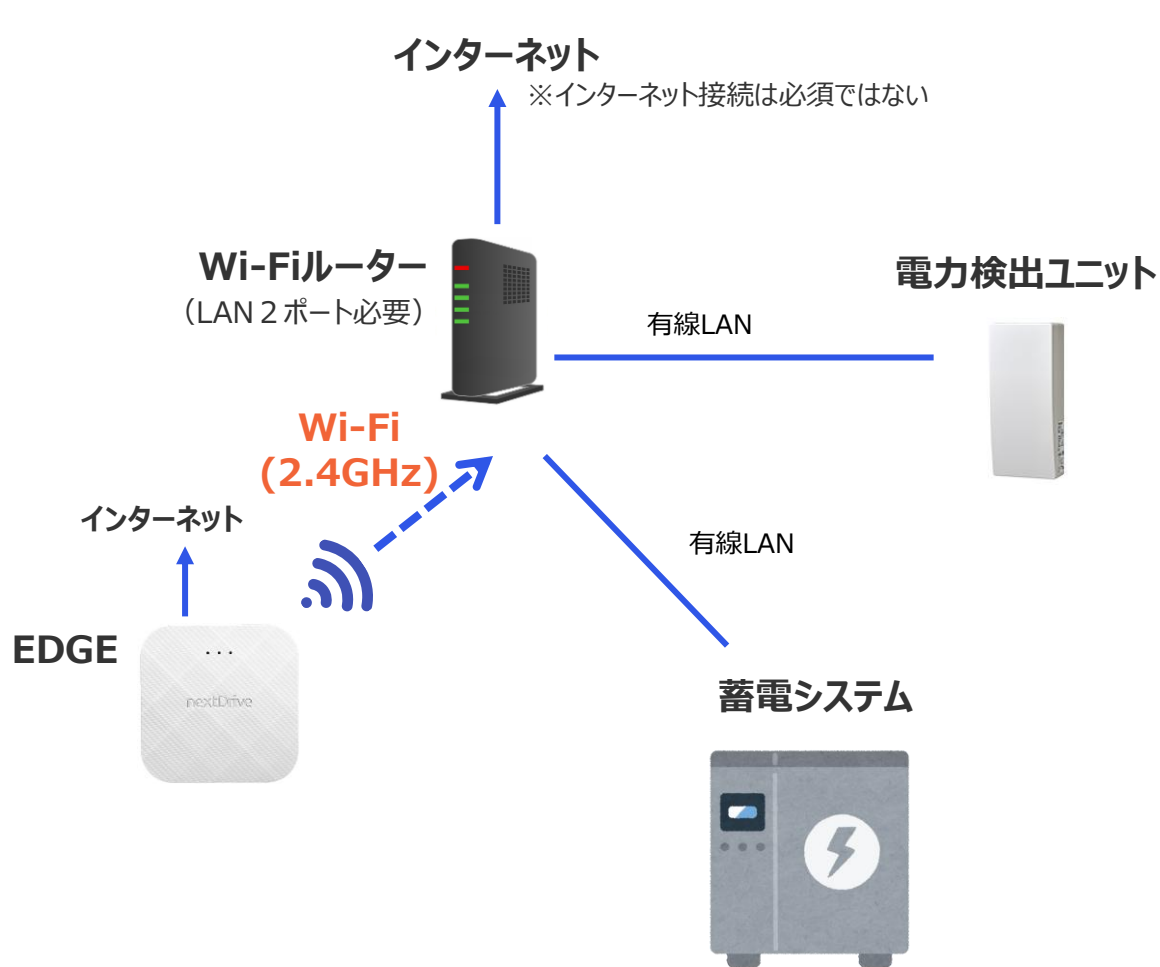


蓄電池メーカーのインターネット接続サービスを利用する場合
※遠隔モニタリングサービス等

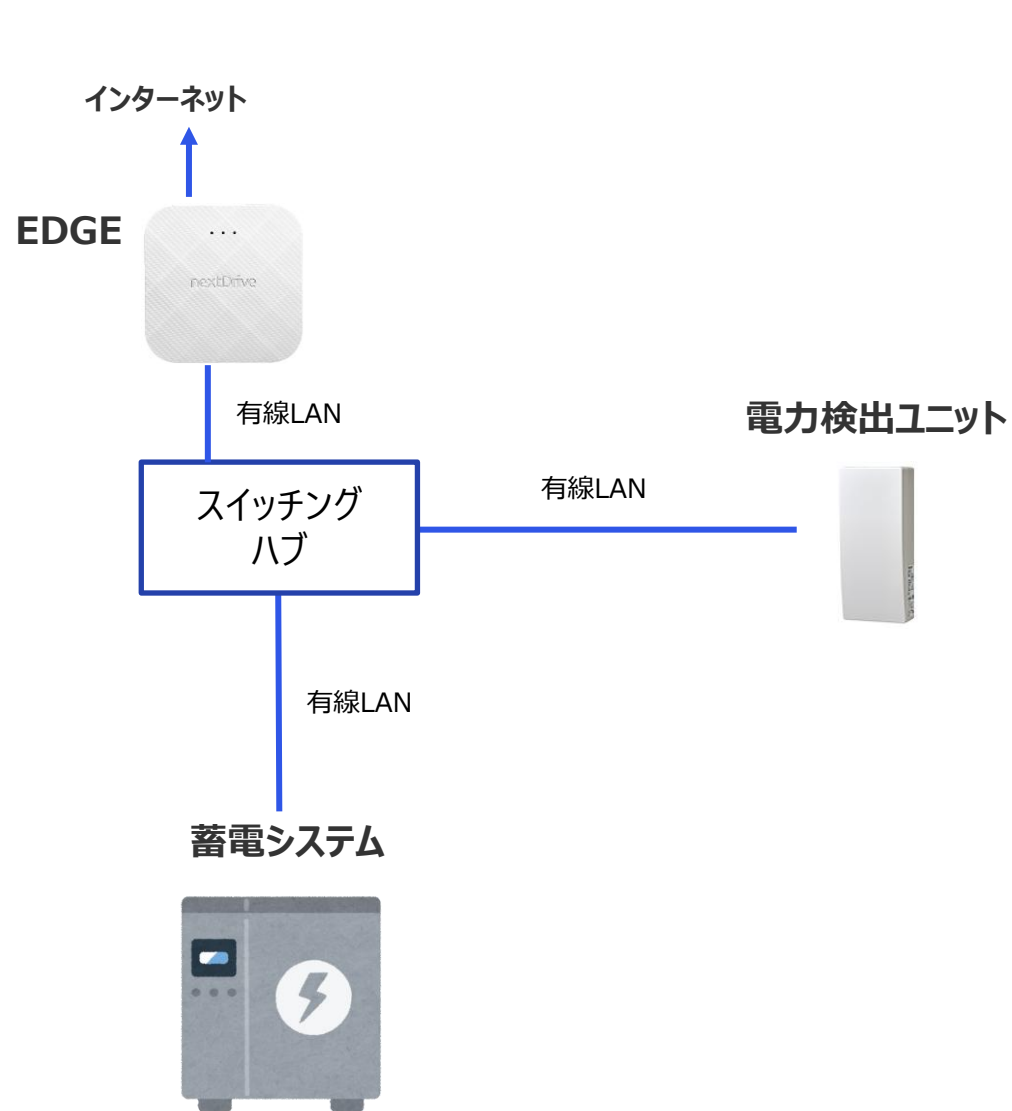
個別の設定が必要となりますので
92ページの手順をご確認ください。



- ※1 Wi-Fiルーターへの接続は、**2.4GHzのアクセスポイント (SSID)** を選択してください。(末尾がb / g や2Gと表記されるアクセスポイント)
- ※2 **バンドステアリング機能**を搭載したWi-Fiルーターをご使用の場合は、**当該機能を無効化**してください。
- ※3 Wi-Fiルーターの**最大接続台数を超える接続**はおやめください。
(最大接続台数はWi-Fiルーターの説明書をご確認ください)
- ※4 **PLC (パワーラインコミュニケーション)** での接続はサポートしておりません。
- ※5 **モバイルルーター、ポケットWi-Fi等**の非・常設利用のルーターは**使用不可**です。(スマホテザリングも不可)
- ※6 **LTE回線を使用したホームルーター**や**回線提供会社が設置するWi-Fiルーター**はECHONET Lite 機器の検出ができない場合があります。その場合は、**市販のWi-Fiルーターを追加で設置**してください。
- ※7 接続できない場合は、**Wi-Fi中継器のメーカー説明書を確認**し、対応を行ってください。



- ※1 Wi-Fiルーターへの接続は、**2.4GHzのアクセスポイント (SSID)** を選択してください。(末尾がb / g や2Gと表記されるアクセスポイント)
- ※2 **バンドステアリング機能**を搭載したWi-Fiルーターをご使用の場合は、**当該機能を無効化**してください。
- ※3 Wi-Fiルーターの**最大接続台数を超える接続**はおやめください。
(最大接続台数はWi-Fiルーターの説明書をご確認ください)
- ※4 **PLC (パワーラインコミュニケーション)** での接続はサポートしておりません。
- ※5 **モバイルルーター、ポケットWi-Fi等**の非・常設利用のルーターは**使用不可**です。(スマホテザリングも不可)
- ※6 **LTE回線を使用したホームルーター**や**回線提供会社が設置するWi-Fiルーター**はECHONET Lite 機器の検出ができない場合があります。その場合は、**市販のWi-Fiルーターを追加で設置**してください。



- ※1 **PLC（パワーラインコミュニケーション）**での接続はサポートしていません。
- ※2 蓄電システム側のDHCP設定を「自動」にしてください。
- ※3 蓄電システムが**有線LAN**接続できない場合には、**本構成は適用不可**です。

蓄電池メーカーのインターネット接続サービスを利用する場合

※遠隔モニタリングサービス等

個別の設定が必要となりますので

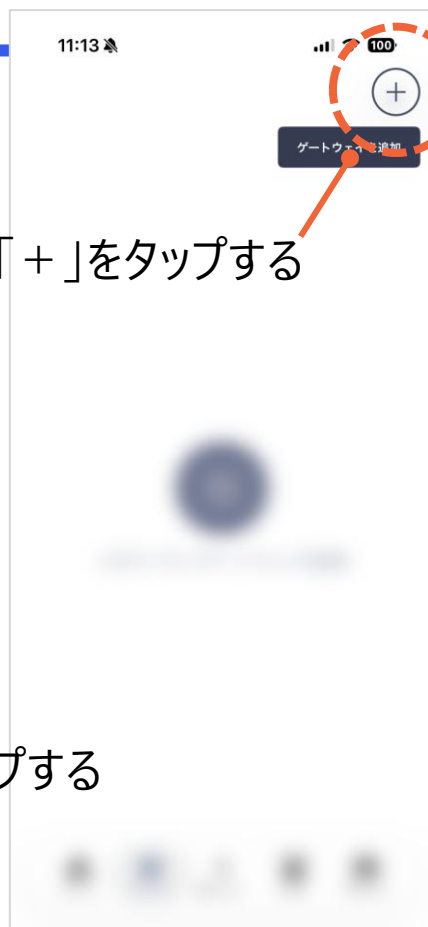
92ページの手順をご確認ください。



手順1 「EDGE」の設定画面に入る



②「+」をタップする





手順2 「EDGE」の機器設定を始める



①「次へ」をタップする



②「EDGE」本体の左側の LEDランプが「緑色」に点灯していることを確認する。

③「ペアリング開始」をタップする



手順3 「EDGE」の機器設定を始める

←

ステップ 1/5

デバイスを検索中

以下の画面に従ってゲートウェイのボタンを押し、Bluetooth とのペアリングモードを起動してください。

本体操作

①「EDGE」本体の「Reset/BT」ボタンを押す。



56

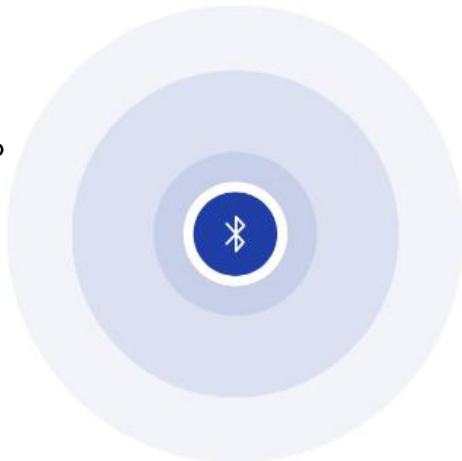
検索しています...

←

ステップ 1/5

デバイスを検索中

以下の画面に従ってゲートウェイのボタンを押し、Bluetooth とのペアリングモードを起動してください。



47

見つからない場合、EDGE のボタンを再度押してください

←

ステップ 1/5

デバイスを検索中

以下の画面に従ってゲートウェイのボタンを押し、Bluetooth とのペアリングモードを起動してください。

利用可能なデバイス



Edge-7a00a7

②「ペアリング」をタップする

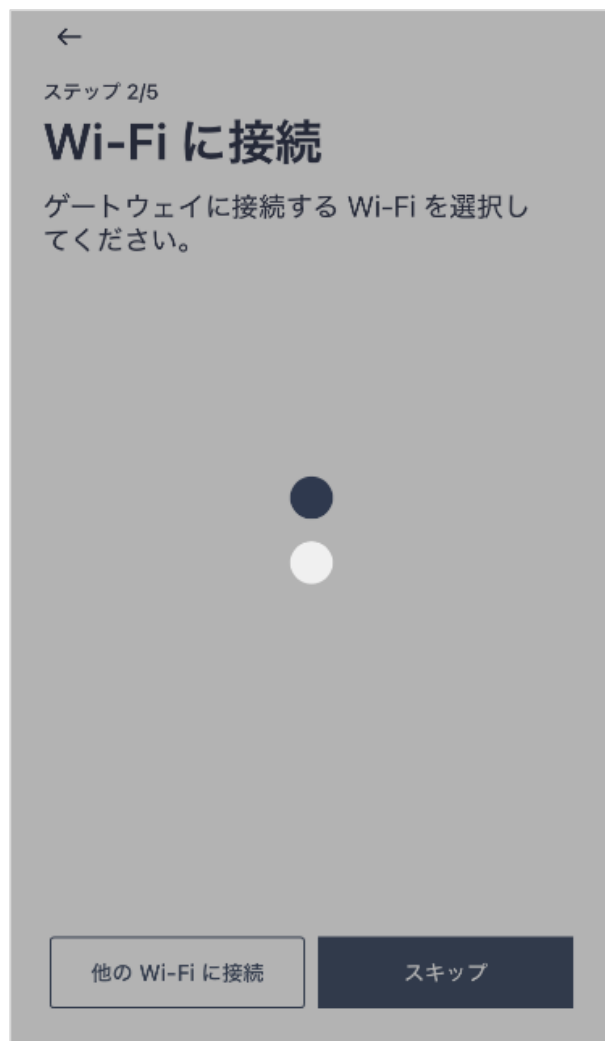
ペアリング

もう一度検索する

Confidential



手順4 Wi-Fi設定を行なう



接続したいWi-Fiのアクセスポイント（SSID）を選択してください。



2.4 GHzのアクセスポイント（SSID）を選択してください。(末尾がb / g や2Gと表記されるアクセスポイント)



バンドステアリング機能を持つWi-Fiルーターを利用の場合は、機能を無効化してください。（設定方法はメーカーの説明書をご確認ください。）

Wi-Fiを利用しない場合には「スキップ」をタップする。



手順5 Wi-Fiのパスワードを入力とゲートウェイ位置の登録

←

ステップ 2/5

Wi-Fi に接続

ゲートウェイに接続する Wi-Fi を選択してください。

aterm-4f49f4-g

Wi-Fi SSID

Wi-Fi パスワードを入力する

接続

NDKK_GUEST

NDKK_1F

NDKK_GUEST

他の Wi-Fi に接続

スキップ

①パスワードを入力する

②「接続」をタップする

→

ステップ 3/5

ゲートウェイの位置

入力された位置情報にもとづいて、屋外の
天候、温度、湿度情報を提供します。

位置を選択

「日本」をタップする

日本 その他

この手順をスキップすると、IP アドレスにもと
づく気象情報が表示されます。

後で設定する

次へ



手順6 ゲートウェイ位置の登録

ステップ 3/5

ゲートウェイの位置

入力された位置情報にもとづいて、屋外の
天候、温度、湿度情報を提供します。

位置を選択

☒ 日本 ☐ その他

ゲートウェイ設置場所の郵便番号

〒 123 - 1234

この手順をスキップすると、IP アドレスにもと
づく気象情報が表示されます。

①設置場所の
郵便番号を入力する

ステップ 3/5

ゲートウェイの位置

入力された位置情報にもとづいて、屋外の
天候、温度、湿度情報を提供します。

位置を選択

☒ 日本 ☐ その他

ゲートウェイ設置場所の郵便番号

〒 106 - 0031
港区

この手順をスキップすると、IP アドレスにもと
づく気象情報が表示されます。

②表示された地点情報を
確認し、タップする

③「次へ」をタップする



手順7 ゲートウェイ名称の登録

ステップ 4/5

ゲートウェイの名前を設定

今後の管理がより便利になります。

ゲートウェイの名前

例：エントランスの EDGE

後で設定する OK

① HEMS(IoT)機器の
名称を入力する

② 「OK」をタップ

SoftBank 12:34 39%



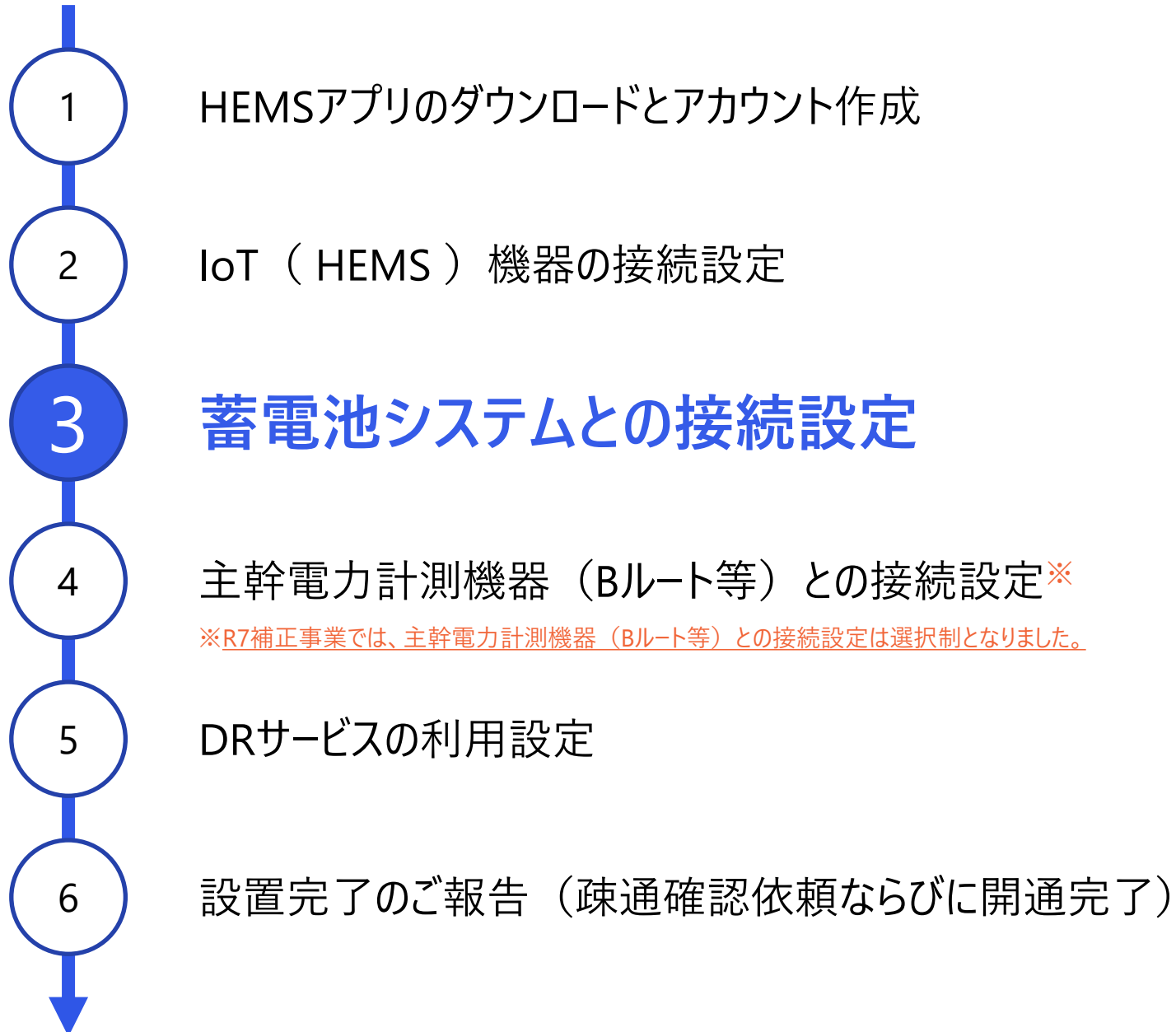
Edge-7a00a7

セットアップ完了

他のデバイスも追加しましょう。さらに多くのサービスが利用できるようになります。

完了

蓄電システムとの
接続設定に続く



手順 1 蓄電システムの通信設定の確認



利用する蓄電システムによって、蓄電システム側で「HEMS利用設定」や「ECHONET Lite接続／有効設定」が必要になります。

蓄電システムで「HEMS利用」等の設定が必要なメーカー

- オムロン
- 京セラ
- 長州産業
- パナソニック

※「HEMS利用」との設定方法は、メーカーの取り扱い説明書をご確認ください。

手順2 HEMSアプリを利用した蓄電システムの設定を開始する

①「デバイス」をタップする

②「+」をタップする

③「ECHONET Lite(エコネットライト)認証済」をタップする

デバイスを追加する

ECHONET Lite (エコネットライト) 認証済み

Motion Pixi

Therma Divi

Reon

ホーム デバイス 電力フロー Life+ アカウント

ホーム デバイス 電力フロー Life+ アカウント

手順3 セットアップの準備



①「次へ」をタップする



②内容を確認して
チェックを入れる

手順4 設定対象機器の選択

←

ステップ 1/3

セットアップの準備

セットアップ前に、以下の準備が完了していることを確認してください。

〜~~~~

スマートフォンがインターネットに接続されている ☒

利用機器が ECHONET Lite (エコーネットライト) 認証を取得している ☒

ECHONET Lite (エコーネットライト) 機器の HEMS 機能が利用可能になっている ☒

利用機器とゲートウェイが同じネットワークに接続されている ☒

次へ

①「次へ」をタップする

←

ステップ 1/3

セットアップの準備

セットアップ前に、以下の準備が完了していることを確認してください。

ゲートウェイとのペアリング

...

nextDrive

Edge-7a0224

次へ

ゲートウェイが見つからない場合

②接続対象のIoT (HEMS) 機器を確認し、「次へ」をタップする

手順 5 接続機器の選択

←

ステップ 2/3

デバイスの選択

近くの ECHONET Lite (エコーネットライト) 認証デバイスを検出して表示します。

メーカー名

IP:192.168.50.89

✓

マルチ入力 PCS

✓

太陽光発電システム

✓

蓄電池

✓

50 秒後に再スキャンできます

次へ

①メーカー名が表示されているチェックボックスをタップする



「蓄電池」、「太陽光発電システム」、「マルチ入力PCS」などにチェックが入っていることを確認してください。



チェックボックスが入っていない機器は、接続設定が完了できません。必ずチェックが入っていることを確認してください。

②「次へ」をタップする

手順6 設定完了



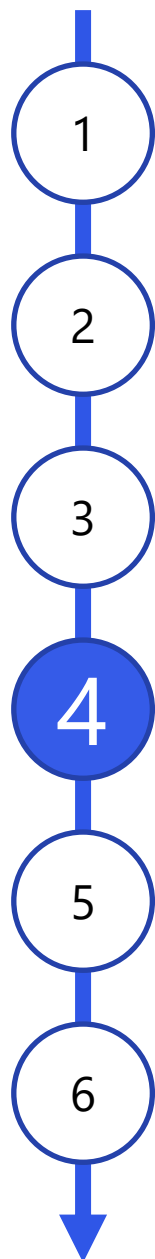
ECHONET Lite (エコーネットライト)
機器

セットアップ完了

ECHONET Lite のデバイスはデフォルト名で表示されます。デバイスカードの設定からデバイス名を変更することができます。

完了

主幹電力機器の
接続設定
に続く



1

HEMSアプリのダウンロードとアカウント作成

2

IoT（HEMS）機器の接続設定

3

蓄電池システムとの接続設定

選択制

4

主幹電力計測機器（Bルート等）との接続設定※

※R7補正で事業は、主幹電力計測機器（Bルート等）との接続設定は選択制となりました。

5

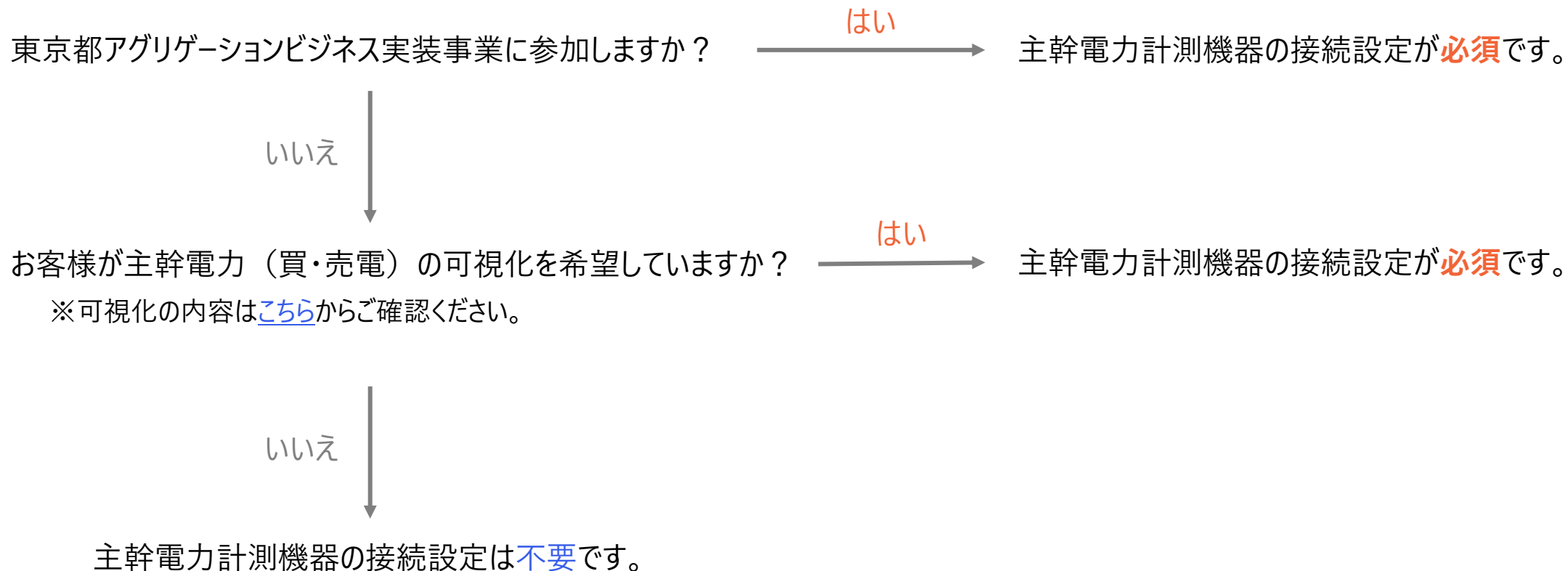
DRサービスの利用設定

6

設置完了のご報告（疎通確認依頼ならびに開通完了）



接続設定の可否を以下のようにご判断ください。





「Bルート」をご利用の場合

… 60ページへ

「電力検出ユニット等」をご利用の場合

… 66ページへ



特定メーカーの蓄電システムを利用する場合、**主幹電力計測機器の接続設定は不要**です。

【対象メーカー】

オムロン、パナソニック、長州産業
(対象の型番は弊社ポータルサイトにてご確認ください)

「Bルート」をご利用の場合



手順1 Bルートの接続設定を始める





手順2 セットアップの準備



①「次へ」をタップする



②内容を確認して
チェックを入れる



手順3 Bルートの接続設定を始める

←

ステップ 1/3

セットアップの準備

セットアップ前に、以下の準備が完了していることを確認してください。

ゲートウェイのLEDライトが点灯している ☒

スマートフォンがインターネットに接続されている ☒

Bルート認証IDとパスワードの準備 ☒

次へ

①「次へ」をタップする

←

ステップ 1/3

セットアップの準備

セットアップ前に、以下の準備が完了していることを確認してください。

ゲートウェイとのペアリング

...

nextDrive

Edge-7a0224

次へ

ゲートウェイが見つからない場合

②接続対象のIoT（HEMS）機器を確認し、「次へ」をタップする



手順4 BルートのIDとパスワードを入力する

←

ステップ 2/3

Bルートの情報

Bルート認証IDとパスワードを入力してください。

Bルート認証ID

1234 - 1234 - 1234 - 1234

1234 - 1234 - 1234 - 1234

0-9、A-Fの組み合わせ32桁

パスワード

完了

q w e r t y u i o p

a s d f g h j k l

z x c v b n m

123 space next

🌐 🎤

←

ステップ 2/3

Bルートの情報

Bルート認証IDとパスワードを入力してください。

Bルート認証ID

1234 - 1234 - 1234 - 1234

1234 - 1234 - 1234 - 1234

パスワード

ABCDEFGH1234

次へ

＼特に注意が必要／



パスワード入力時には、必ず電力会社から送付されている通知書またはメールの原本を確認し、入力間違いの無いよう、十分に注意してください。



パスワード入力時は、

とくに

0（ゼロ）とO（オー）、1（イチ）とI（アイ）などご注意ください。



パスワードは**大文字**で提供されています。



手順5 セットアップの完了



「完了」をタップする

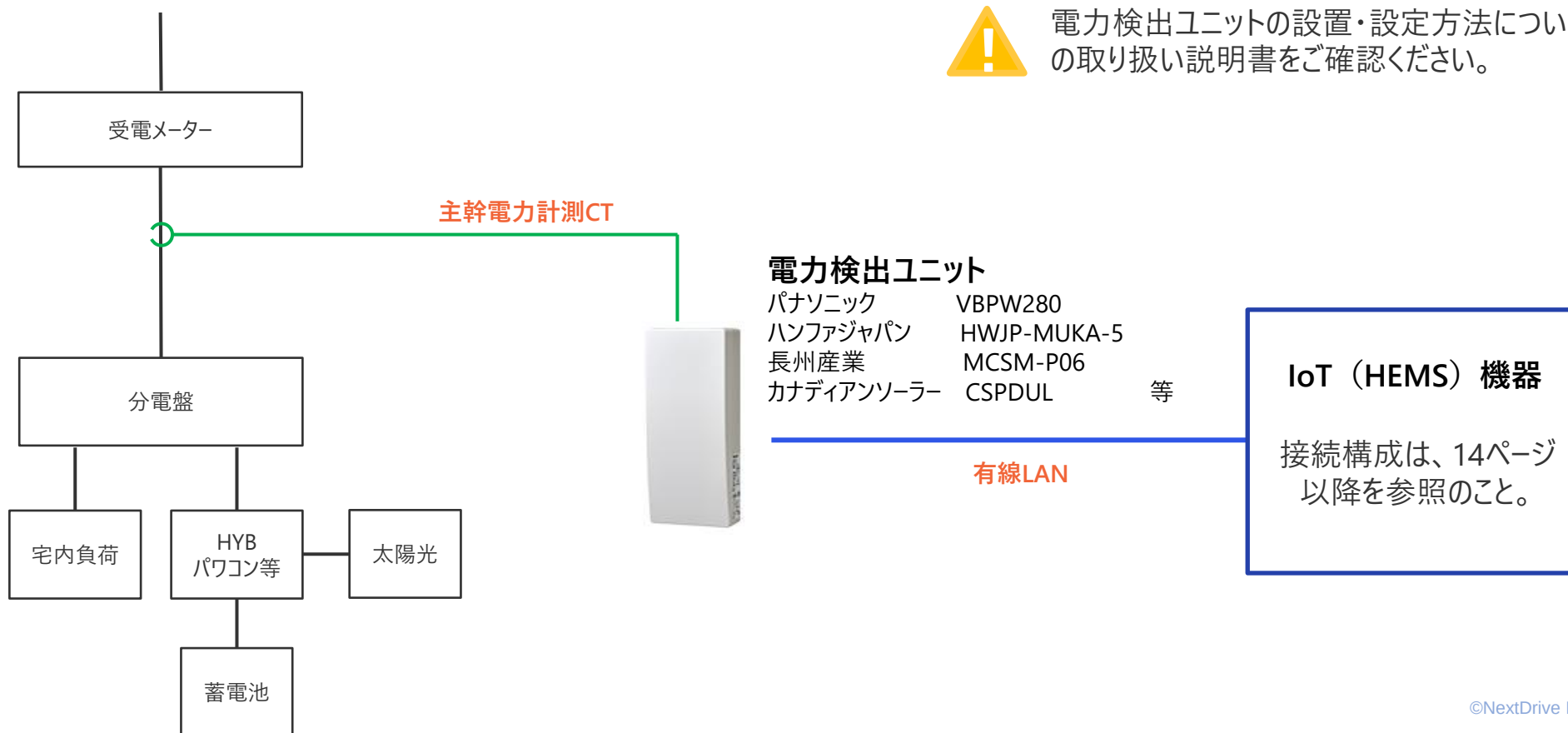
DRサービスの
利用設定に続く

74ページへ

「電力検出ユニット等」をご利用の場合



- 電力検出ユニットを利用して、「**主幹電力量**」の計測を行なってください。
- 本構成では、電力検出ユニットは独立して利用するもので、**パソコン等との接続は不要**です。
- 電力検出ユニットと**IoT（HEMS）機器との接続は有線LAN（DHCP）**とし、具体的な構成は14ページ以降をご確認ください。



手順1 HEMSアプリを利用した電力検出ユニット等の設定を開始する

①「デバイス」をタップする

②「+」をタップする

③「ECHONET Lite(エコーネットライト)認証済」をタップする

デバイスを追加する

EDGE 21.4°C 27% 港区

ほぼ晴れ

+ をタップしてデバイスを追加

Home デバイス 電力フロー Life+ アカウント

Home デバイス 電力フロー Life+ アカウント

Therma Divi Room

©NextDrive Highly Confidential

手順2 セットアップの準備



①「次へ」をタップする

②内容を確認して
チェックを入れる

手順3 設定対象機器の選択

←

ステップ 1/3

セットアップの準備

セットアップ前に、以下の準備が完了していることを確認してください。

〜

スマートフォンがインターネットに接続されている ☒

利用機器が ECHONET Lite (エコーネットライト) 認証を取得している ☒

ECHONET Lite (エコーネットライト) 機器の HEMS 機能が利用可能になっている ☒

利用機器とゲートウェイが同じネットワークに接続されている ☒

次へ

①「次へ」をタップする

←

ステップ 1/3

セットアップの準備

セットアップ前に、以下の準備が完了していることを確認してください。

ゲートウェイとのペアリング

...

nextDrive

Edge-7a0224

次へ

ゲートウェイが見つからない場合

②接続対象のIoT (HEMS) 機器を確認し、「次へ」をタップする



手順4 接続機器の選択

①メーカー名が表示されているチェックボックスをタップする



「分電盤」にチェックが入っていることを確認してください。



機器が検出できない場合は、「デバイス」ページに分電盤のカードが表示されている（設定済み）ことを確認してください。（78ページを参照してください）

②「次へ」をタップする



手順 5 測定目的の選択

←

測定目的

分電盤 パナソニック株式会社 を測定する目的を選択してください。

総電力量を把握する

この分電盤で測定される電力量全体を確認します。それ以上の回路測定はできない可能性がありますので、ご注意ください。

✓

ZEH 補助金の申請に利用する

回路をより詳細に測定するため、次のステップで分電盤の商品コードを選択してください。

✓

次へ

←

測定目的

分電盤 パナソニック株式会社 を測定する目的を選択してください。

総電力量を把握する

この分電盤で測定される電力量全体を確認します。それ以上の回路測定はできない可能性がありますので、ご注意ください。

✓

ZEH 補助金の申請に利用する

回路をより詳細に測定するため、次のステップで分電盤の商品コードを選択してください。

✓

次へ

①「総電力量を把握する」を選択する

②「次へ」をタップする



手順 6 デバイス名称の設定

ステップ 3/3

デバイス名

今後の管理がより便利になります。

デバイス名

例：キッチンのデバイス

後で設定する

OK

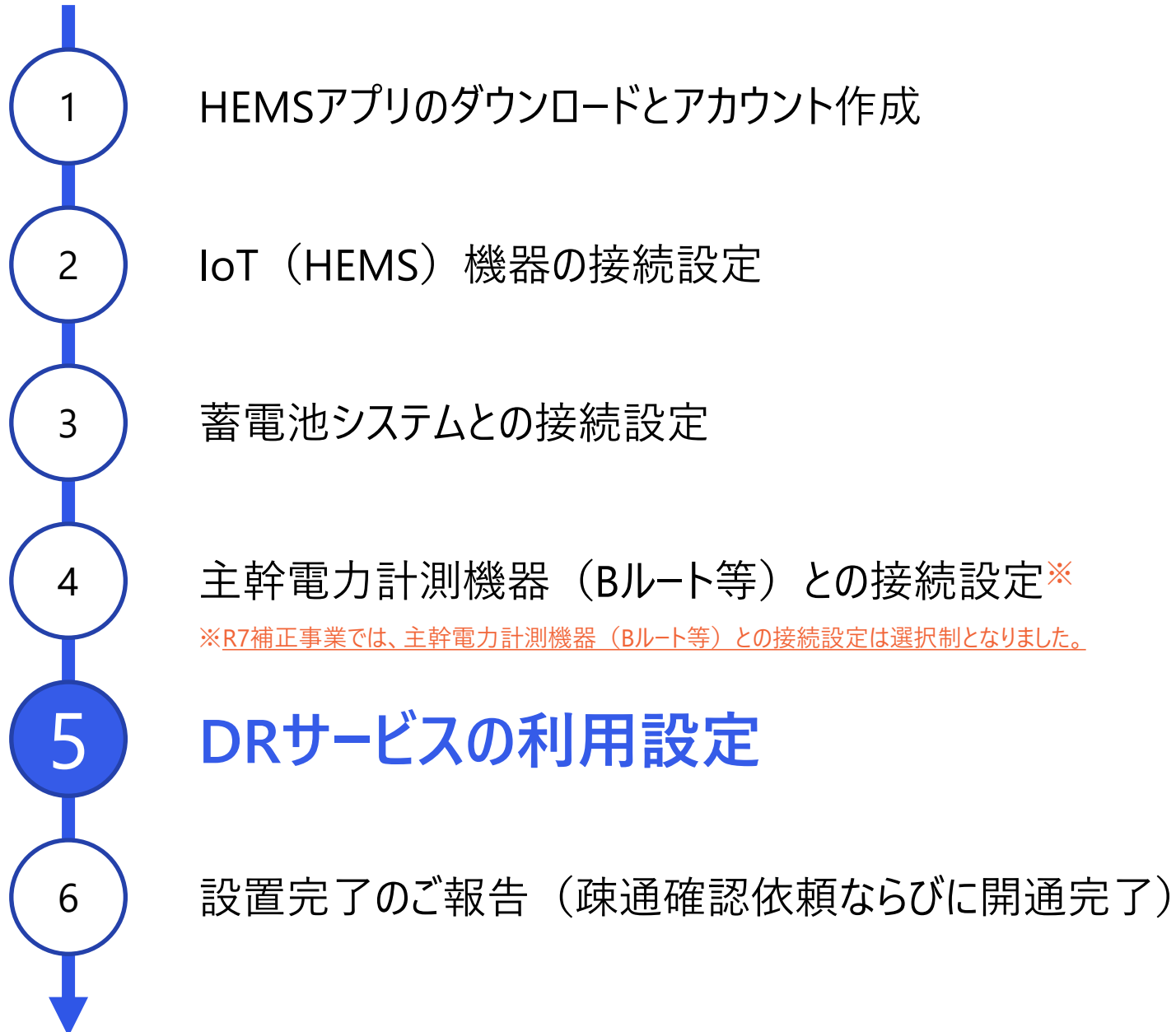
①デバイス名称を入力する

②「OK」をタップする



DRサービスの
利用設定に続く

74ページへ





お客様のHEMSアプリ登録アカウントでアプリにログインした上で操作してください。



設定が完了していない場合、DR制御ができず、**事業完了要件を満たしません。**

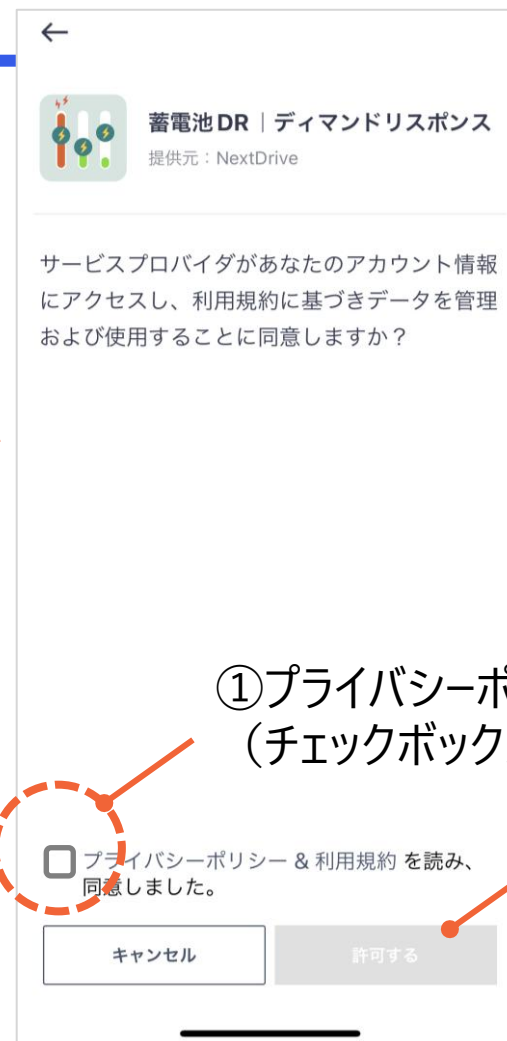


手順1 DRサービスの利用開始



①「Life+」をタップする

②「蓄電池DR | ディマンドリス
ポンス」サービスの「利用する」
をタップ

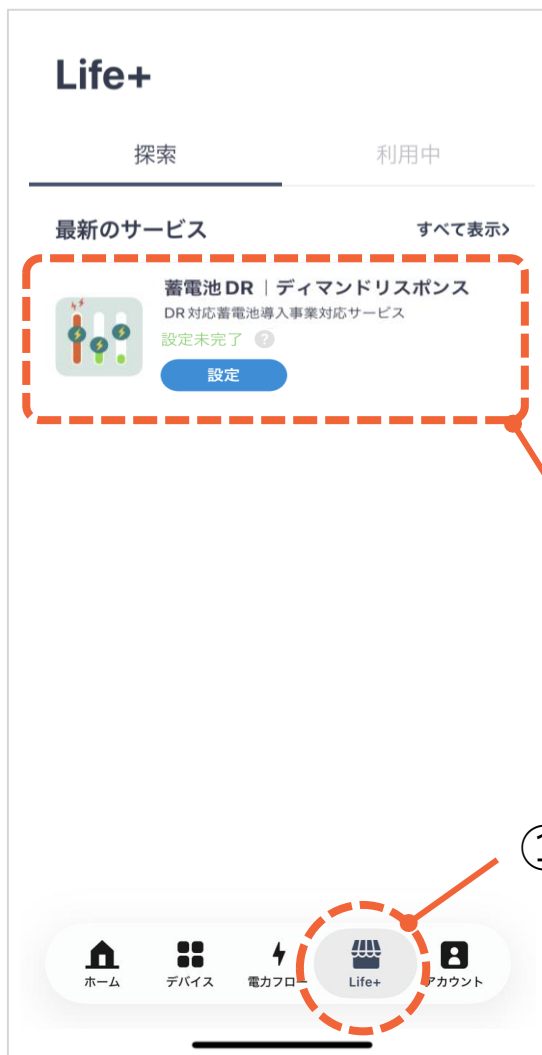


①プライバシーポリシー、利用規約にご同意ください。
(チェックボックスをタップ)

②「許可する」をタップする



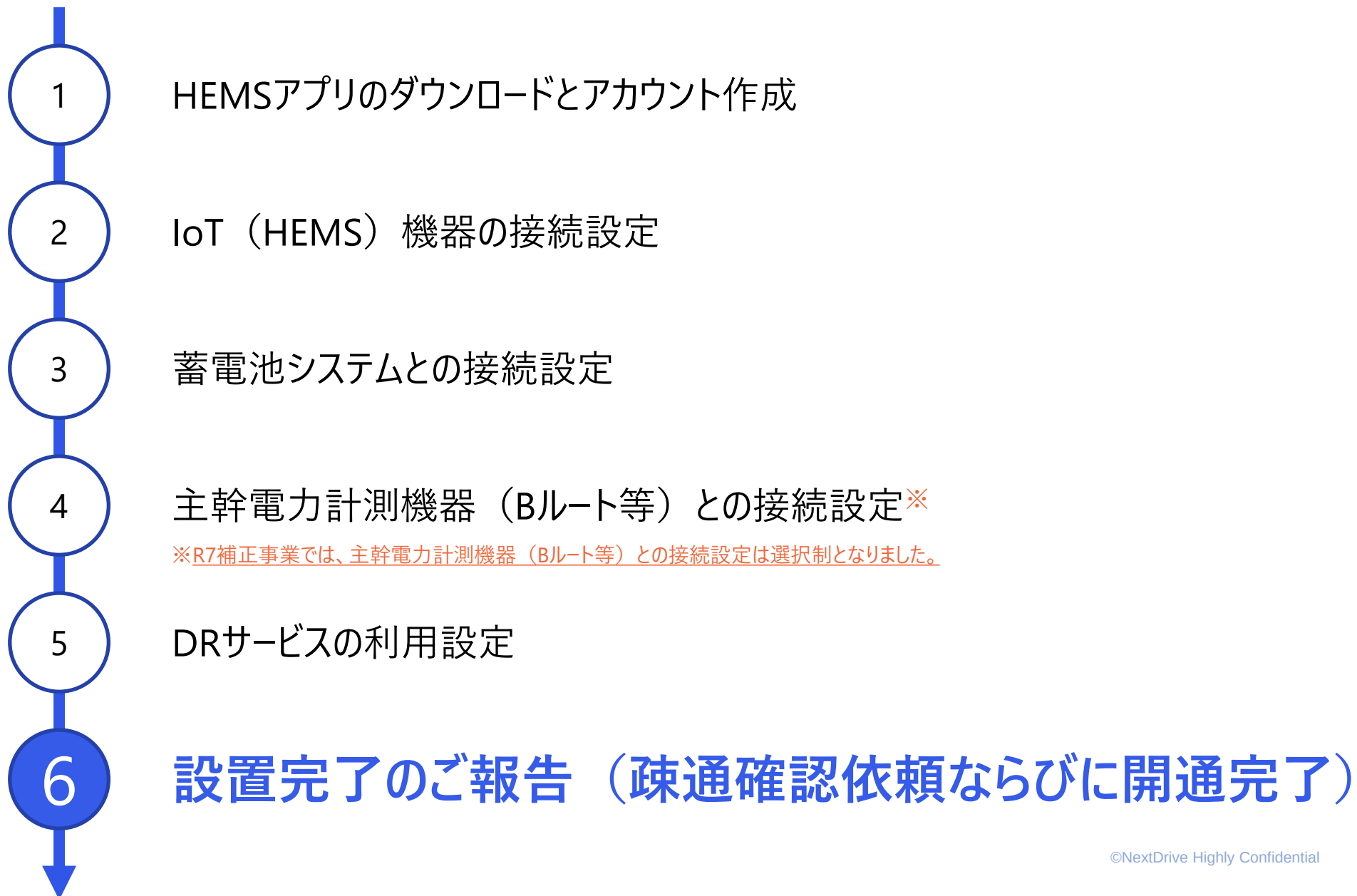
手順2 DRサービスの設定



「設置完了のご報告」に続く

②「**設定**」と表示されていることを
ご確認ください。

①「Life+」をタップする





お客様のHEMSアプリ登録アカウントでアプリにログインした上で操作してください。



現地作業時に設置完了の報告を実施してください。

※**交付申請**番号等が必要となりますので、事前に現地作業担当者と連携をお願いします。



設置完了のご報告が無い場合、**事業完了要件を満たしません。**



「設置完了の報告」を始める前に、以下の点を確認してください。

IoT (HEMS) 機器と各設備の接続が完了している



Check 1

横長のカードが表示されている。

Check 2

各設備のデバイスカードが表示されている

必須

NG

Check 1が確認できない場合は、
13ページの手順を実施
Check 2が確認できない場合は、
50ページの手順を実施

機器構成によって表示されるものが異なります

蓄電池



Bルート



分電盤



太陽光



マルチPCS





「設置完了の報告」を始める前に、以下の点を確認してください。

「DRサービスの利用設定」が完了している



Check

「設定未完了」と表示されている。

Check

「設定」と表示されている。

「Life+」をタップする

NG

Check が確認できない場合は、
74ページの手順を実施



設置完了のご報告（疎通確認依頼ならびに開通完了）

nextDrive

手順1 設定完了報告フォームへアクセスする。



現地設定完了時に実施してください。



入力が必要となる情報をご準備ください。

- 交付申請番号
- IoT (HEMS) 機器製品番号
- お客様氏名
- お客様の連絡用メールアドレス
- 設備設置場所住所
- 申請代行者（販売店）名称
- 不備発生時の連絡先



手順2 SII R7補正DR事業の設定完了報告フォームをクリックしてください。

【NextDrive】 設定完了報告フォーム

機器の設置・設定が完了しましたら、申請される補助金（国のDR／東京都DR）に応じて、以下のフォームより設定完了報告を行ってください。
両方に申請される場合は、それぞれのフォームからご提出をお願いいたします。

SII R7補正 DR 家庭用蓄電池導入事業

東京都アグリゲーションビジネス実装事業

「SII R7補正 DR事業」をタップしてください。



手順3 交付申請番号を入力してください。

【NextDrive】R7補正 DR家庭用蓄電池導入 事業：設定完了報告フォーム

機器の設置・設定ならびに「蓄電池DR|ディマンドリスポンス」の利用設定が完了しましたら、以下のフォームより設定完了報告を行ってください。

交付申請番号 必須

申請書番号をご記入ください。
※交付決定番号ではありません。誤入力にご注意ください。

BVF251-01-

申請書番号を確認する

画像はイメージです。

①「交付**申請**番号」を入力してください。

②「申請書番号を確認する」をタップしてください。

エラーが表示される場合

「**申請書番号が見つかりません。**」

申請書番号の入力内容に誤りがないか、再度入力内容の確認を行ってください。

「**申請書番号がすでに送信されています。**」

過去に同一の申請書番号で設定完了報告が送信された記録があります。再度、入力内容の確認を行なっていただき、誤りが無ければそのまま入力を進めてください。
※誤りがあった場合、後日再提出が必要になる可能性があります。



手順4 IoT（HEMS）製品番号を入力してください。

交付申請番号 **必須**

申請書番号をご記入ください。

※交付決定番号ではありません。誤入力にご注意ください。

BVF251-01-

申請書番号を確認する

IoT(HEMS)製品番号 **必須**

IoT(HEMS)機器の製品番号(PID)を記入してください。

製品番号は、化粧箱に封入されているまたは機器本体裏側に添付のシールにてご確認ください。

スマートフォンのカメラでQRコードを読み取ると入力が便利です。

※「C」、「J」または「P」から始まる英数字17桁です。

※入力後、疎通確認を行います。

※疎通確認結果複数エラーが確認された場合でも、1つずつ対応方法をご案内いたします。

確認する

②「確認する」をタップしてください。

①「IoT（HEMS）製品番号」を入力してください。

エラーが表示される場合

- IoT機器の製品番号が間違っている
- IoT（HEMS）機器の設定が完了していない
- 蓄電池の接続設定が完了していない
- DRサービスの利用が開始されていない

→対応手順（リンク）が表示されます、内容を確認し対応を進めてください。

「製品番号がすでに送信されています。」

過去に同一の製品番号で設定完了報告が送信された記録があります。

再度、入力内容の確認を行なっていただき、誤りが無ければそのまま入力を進めてください。

※誤りがあった場合、後日再提出が必要になる可能性があります。



手順5 電力エリアを入力してください。

電力エリア 必須

蓄電池が設置された地域の電力エリアを選択してください。

☐ 北海道電力エリア

☐ 東北電力エリア

☐ 東京電力エリア

☐ 北陸電力エリア

☐ 中部電力エリア

☐ 関西電力エリア

☐ 中国電力エリア

☐ 四国電力エリア

☐ 九州電力エリア

☐ 沖縄電力エリア

画像はイメージです。

蓄電池が設置された地域の「電力エリア」を選択してください。



手順6 申請者（お客様）情報を入力してください。

申請者（お客様）情報を入力してください。

申請者（お客様）情報をご記入ください。

申請者氏名 **必須**

法人での申請の場合には、代表者氏名をご記入ください。

姓

名

申請者の連絡用メールアドレス **必須**

お客様の連絡がつくメールアドレスを入力してください。

info@example.com

確認用

設置場所住所 **必須**

郵便番号

0000000

都道府県

選択してください ▼

市区町村

番地

マンション・ビル名

画像はイメージです。



手順7 申請代行者（販売店）の情報を入力してください。

申請代行者（販売店）名 必須

申請代行者（販売店）名称を入力してください。

不備発生時の連絡先 必須

設定に不備があった場合にはご連絡を差し上げます。
申請代行者（販売店）の連絡がつく電話番号を記入してください。

090-1234-5678

送信履歴の送付先 任意

フォーム送信内容の控えを受け取りたい場合は、送付先メールアドレスをご入力ください。

info@example.com

確認用

確認画面へ

①申請代行者（販売店）名を入力してください。

②不備発生時の連絡先（電話番号）を入力してください。

※販売店または施工業者等の連絡先をご記入ください。

※申請者（お客様）の連絡先ではありません。

③送信履歴を受け取りたい場合、送信先を入力してください。

④「確認画面へ」をタップ



手順 8 入力内容の確認と送信

【NextDrive】R7補正 DR家庭用蓄電池導入 事業：設定完了報告フォーム

ご登録頂いた内容に誤りがないかご確認ください。

電力エリア

四国電力エリア

お客様のアプリ登録アカウント
(メールアドレス)

test@gmail.com

申請者氏名

中田 誠

設置場所住所

456-7890 テストテスト テスト

申請代行者(販売店)名

テスト株式会社

不備発生時の連絡先

090-0000-0111

送信する

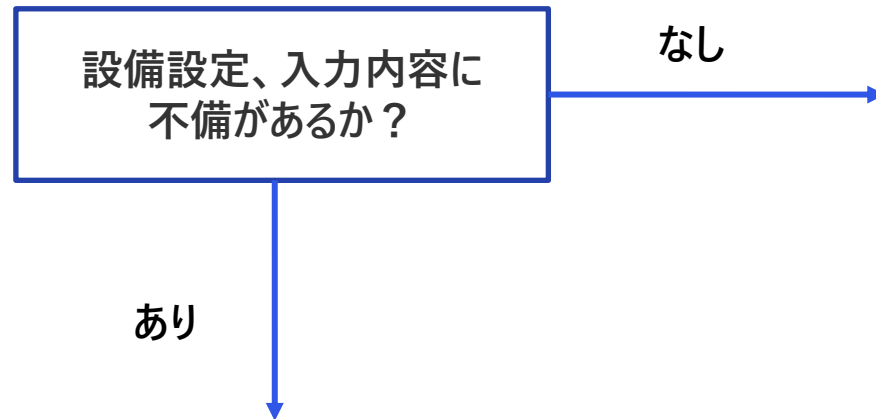
戻る

画像はイメージです。

内容を確認し「送信する」をタップしてください。
設置完了報告の手続きは、以上で完了です。



営業時間内※にご連絡頂いた案件は、
原則、当日中に確認致します。
(時間外の場合には翌営業日の確認となります。)



ご連絡を頂戴した、翌営業日を目途に
「不備発生時の連絡先」に
弊社担当者よりご連絡差し上げます。

※営業時間：平日 10:00～17:00

サービス開通が完了します。

Life+



Check

蓄電池DR | デイマンドリスポンス
「利用中」と表示されている。





以上ですべての設定が完了となります。
ご協力ありがとうございました。



参考：Wi-Fiルーターを利用しない場合の個別設定依頼

nextDrive

蓄電池メーカーのインターネット接続サービス
(遠隔モニタリング等) を利用する場合のご連絡方法

対象

構成E3

構成E6

構成E7

お客様のアカウントでHEMSアプリにログイン



スマートフォンのメーカーからメール送信



②「お問い合わせ」をタップする

①「アカウント」をタップする



「**有線LAN設定要望**」
とご記入ください。

基本情報を残して
送信してください。※

➡ メール受信後に弊社にて
接続設定を遠隔で実施します。

※送信する前に「EDGE」と「蓄電池」が接続されていることを
お確かめください。



Q：GWが「権限エラー」が表示されて登録できません。

A：「権限エラー」が表示された場合は、GWが既に登録済みであるか、ご使用のアプリが間違っているかのいずれかです。

(1) GWが既に登録済みの場合

当該のGWが登録済みかを調べるにはデバイス画面をご確認ください。

登録済みの場合、GWのカード（横長の長方形）が表示されますので、右上の「：」よりWi-Fi の設定やデバイスの登録を行ってください。

(2) ご使用のアプリが間違っている場合

商流によってご使用いただけるアプリが異なります。

アプリの名称は販売店様にご確認ください。 ※ご使用方法はどのアプリも同じです。

Q：GWがWi-Fiルータに登録できません。

A：Wi-Fi ルーターのリストが表示されない場合は、もう一度Wi-Fi 設定をやりなおしていただくと表示する場合があります。

また、弊社のGWは2.4GHzで接続することを推奨しております。2.4GHz以外の周波数で接続している場合は、2.4GHzに接続するようにしていただくと接続できる場合があります。

GWのリセットを行う場合は、Wi-Fi ルーターの電源を切った状態で実施してください。

Q：蓄電池（ECHONET Lite 機器）が表示されません。

A：まずは、Wi-Fi ルーターを再起動して検出できるかをご確認ください。

Wi-Fi ルーターの再起動でも状況が変わらない場合は、蓄電池側のネットワーク設定を再度実施してください。

※IPアドレスがWi-Fi ルーターと同じセグメントであるかご確認ください。

また、Wi-Fi ルーターによっては ECHONET Lite が通信しづらい場合があります。その場合は、市販のWi-Fi ルーターを追加すると解決する場合があります。

Q：アプリのデバイス画面に表示されているGWのカード（横長の長方形）に「接続中…」が表示されている。

A：ファームウェアの更新を行っておりますので、GWの電源は絶対に抜かないでください。ファームウェア更新中にGWの電源を抜いてしまいますと故障の原因になります。



Q：GW（またはデバイス）の削除方法を教えてください。

A：アプリのデバイス画面に登録済みのGW（またはデバイス）のカードが表示されています。

(1) GWを削除する場合

アプリのデバイス画面の一番上にあるカード（横長の長方形）がGWです。

カードの右上にある「：」をタップするとメニューが表示されますので、一番下の「削除」を選択してください。

(2) デバイスを削除する場合

GWの下にあるカード（縦や横長の長方形）がデバイスです。

カードの右上にある「：」をタップするとメニューが表示されますので、一番下の「削除」を選択してください。

Q：Wi-Fi の再設定方法を教えてください。

A：アプリのデバイス画面の一番上にあるカード（横長の長方形）がGWです。

Wi-Fi の設定は、カードの右上にある「：」をタップして表示されるメニューで「ネットワーク」を選択してください。

Q：蓄電池運転モードの設定方法を教えてください。

A：アプリのデバイス画面で蓄電池のカードが表示されていることを確認してください。

蓄電池のカードにある「操作」ボタンをタップすると運転モードの設定を行うことができます。

時折、「勝手に充電している」とお問い合わせいただくことがございますが、その場合は「自動運転モード」に設定していただくことで解消する場合があります。

Q：Cube J のボタンを押下してもLEDが青点滅にならない。

A：Cube J の電源を抜き差しして、再度お試しください。

電源の抜き差しでも症状が改善しない場合は、LEDがオレンジ色の点灯になるまでボタンを押下し続けリセットをお試しください。

※リセット中は電源の抜き差しは行わないでください。故障の原因になります。

お問合せは原則ウェブフォームからお願い致します。

情報発信

情報発信サイトを開設しています！

R7補正向けサイトにて情報発信致します。
よくあるご質問と回答も掲載しています。



＼設定手順のご案内／

＼各種説明会資料／

<https://r7-sii-dr.scroll.site/r7-dr>

ニュースレターを配信致します！

情報発信サイトの更新情報や最新情報をメール
にてご連絡します。

お問合せ



ウェブフォームでのお問合せ

情報発信サイト内からご連絡ください。



<https://share-eu1.hsforms.com/19VxJM4NpRTqku23w5cmVmA2e82qa>



お電話でのお問合せ

050-3529-9416

受付時間：平日 10:00～17:00（12:00-13:00を除く）
設定・設定の現場からのお問合せを優先させていただきます。
手続きに関するご質問は折り返しでの対応となりますので、ご了承ください。

更新日付	版	内容
2026年6月10日	初版	初版発行



NextDrive株式会社 DR事務局

情報発信サイト | R7補正 DR家庭用蓄電池



<https://r7-sii-dr.scroll.site/r7-dr>